

第二十四回 帝國議會 貴族院議事速記錄第十七號

明治四十一年三月二十三日(月曜日)

午前十時五分開議

議事日程 第十七號 明治四十一年三月二十三日

午前十時開議

第一 明治四十年法律第三十一號中改正法律案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十九

鐘岬燈臺建設ノ請願

第三十

九州鐵道線ニ東郷停車場新設ノ請願

第三十一

北海道旭川遊廓廢止ノ請願

第三十二

郡界變更ノ請願

第三十三

郵便局移轉ノ請願

第三十四

石ノ巻船形間船形酒田間鐵道速成ニ關スル請願會

第三十五

渡良瀬川河身改修ノ請願

第三十六

正法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

第三十七

同日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

第三十八

権太廳立小學校教員退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員會

第三十九

陸軍營繕費補充資金特別會計法案、明治二十三年法律第二十七號中改正

法律案特別委員會

第四十

委員長 伯爵野田裕通君

第四十一

副委員長 兒玉淳一郎君

第四十二

委員長 男爵石黒忠惠君

第四十三

副委員長 大澤謙二君

第四十四

鹽專賣法中改正法律案特別委員會

第四十五

會議

第四十六

議

第四十七

議

第四十八

議

第四十九

議

第五十

議

第五十一

議

第五十二

議

第五十三

議

第五十四

議

第五十五

議

第五十六

議

第五十七

議

第五十八

議

第五十九

議

第六十

議

第六十一

議

第六十二

議

第六十三

議

第六十四

議

第六十五

議

第六十六

議

第六十七

議

第六十八

議

第六十九

議

第七十

議

第七十一

議

第七十二

議

第七十三

議

第七十四

議

第七十五

議

第七十六

議

第七十七

議

第七十八

議

第七十九

議

第八十

議

第八十一

議

第八十二

議

第八十三

議

第八十四

議

第八十五

議

第八十六

議

第八十七

議

第八十八

議

第八十九

議

第九十

議

第九十一

議

第九十二

議

第九十三

議

第九十四

議

第九十五

議

第九十六

議

第九十七

議

第九十八

議

第九十九

議

第一百

議

第一百一

議

第一百二

議

第一百三

議

第一百四

議

第一百五

議

第一百六

議

第一百七

議

第一百八

議

第一百九

議

第一百二十

議

第一百二十一

議

第一百二十二

議

第一百二十三

議

第一百二十四

議

第一百二十五

議

第一百二十六

議

第一百二十七

議

第一百二十八

議

第一百二十九

議

第一百三十

議

第一百三十一

議

第一百三十二

議

第一百三十三

議

第一百三十四

議

第一百三十五

議

第一百三十六

議

第一百三十七

議

第一百三十八

議

第一百三十九

議

第一百四十

議

第一百四十一

議

第一百四十二

議

第一百四十三

議

第一百四十四

議

第一百四十五

議

第一百四十六

議

第一百四十七

議

第一百四十八

議

第一百四十九

議

第一百五十

議

第一百五十一

議

第一百五十二

議

第一百五十三

議

第一百五十四

議

第一百五十五

議

第一百五十六

議

第一百五十七

議

第一百五十八

議

第一百五十九

議

第一百六十

議

第一百七十

議

第一百七十一

議

第一百七十二

議

第一百七十三

議

第一百七十四

議

第一百七十五

議

第一百七十六

議

第一百七十七

議

第一百七十八

議

第一百七十九

議

第一百八十

議

第一百八十一

議

第一百八十二

議

第一百八十三

議

第一百八十四

議

第一百八十五

議

第一百八十六

議

第一百八十七

議

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵谷 干 城君 副委員長 二 浦 安君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

樺太廳立小學校教員退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案可決報告書

獸疫豫防法中改正法律案可決報告書

畜牛結核病豫防法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

肥料取締法改正法律案

明治三十九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ同院提出產業組合法中改正法律案ヲ受領セリ

同日衆議院ヨリ明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ内徵兵檢丁及新兵旅費ハ同院ニ於テ承諾スヘカラサルモノト議決シタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

同日議員大谷嘉兵衛君ヨリ七十一名ノ賛成ヲ以テ海外商工事務官ヲ置クノ建議案ヲ提出セリ

同日内閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

右之通本日任命相成候條此旨及御通牒候也

明治四十一年三月十九日

大藏書記官 長 島 隆 二

大藏省所管事務政府委員被仰付

貴族院議長公爵德川家達殿

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

貴族院議長公爵德川家達殿

去ル二十日各特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

滿洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案特別委員會

委員長 子爵岡部長職君 副委員長 菊池武夫君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

公證人法案特別委員會

委員長 伯爵廣澤金次郎君 副委員長 柴田家門君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

陸軍營繕費補充資金特別會計法案可決報告書

明治二十三年法律第二十七號中改正法律案可決報告書

滿洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案可決報告書

同日政府ヨリ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ヲ受領セリ

昨二十二日政府ヨリ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ヲ受領セリ

本日政府ヨリ刑事訴訟法中改正法律案ヲ受領セリ

本日委員長ヨリ請願委員會特別報告第七號ヲ提出セリ

同日政府ヨリ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案ヲ受領セリ

本日委員長ヨリ請願委員會特別報告第七號ヲ提出セリ

本日委員長ヨリ請願委員會特別報告第七號ヲ提出セリ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、明治四十年法律第三十一號中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、本日ハ議案ノ朗讀ハ總テ省略イタシテ御異存ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス  
〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

明治四十年法律第三十一號中改正法律案  
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十一年三月十七日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

明治四十年法律第三十一號中改正法律案

明治四十年法律第三十一號中改正法律案

第三條 地租ノ稅額ニ付テハ前二條ノ規定ヲ適用セス其ノ稅額及每納期ノ

分納額ニ一錢未満ノ端數アルトキハ之ヲ五厘トシテ計算ス

第四條 國庫ノ收入金又ハ仕拂金ニシテ其ノ全額一錢未満ノモノハ之ヲ五

厘トシテ計算ス

國庫ノ收入金ニシテ收入印紙又ハ郵便切手ヲ以テ納メシムルモノニ付テ

ハ第一條及前項ノ規定ヲ適用セス

一筆ノ土地ノ地價ニシテ其ノ全額一錢未満ノモノハ切上ケテ一錢トス

前三項ノ外國庫ノ收入及仕拂上本法ノ規定ヲ適用セサルモノハ命令ヲ以

テ之ヲ定ム

#### 附 則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔政府委員櫻井鐵太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 本案ハ國庫ノ收入金並ニ仕拂金ノ出納上ノ便利ヲ圖リマスル爲ニ、昨年三月法律第三十一號ト云フモノガ制定サレマシテ、其後實行イタシテ居リマスル所ガ、地租並ニ一錢未満ノ金額ノ出納ニ付キマシテハ厘錢ガ甚シク缺乏イタシテ居リマスル爲ニ出納上ニ不便ヲ感ズルコトガ少クアリマセヌノデ、ソレ故ニ更ニ法律ヲ改正イタシマシテ一錢未満ノ端數ハ總テ五厘トシテ出納スル、斯ウ云フコトニ改正ヲ致シマシテ出納上ノ便利ヲ圖リタイト云フ趣意デゴザイマス、宜シク御審議ノ上、御協賛ヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ特別委員ノ選舉ニ移リマス、本日ノ特別委員ハ總テ議長指名ト心得テ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマスカラ議長ガ指名ヲ致シマス○子爵谷干城君 私ハ是ヨリ御許可ヲ得テ家祿賞典祿ニ關スル處分法案、是ハモウ年々喧マシイ問題デゴザイマスガ、餘ホド日モ差迫シテ居リマスカラ是カラ退席イタシマシテ、此委員會ヲ繼續イタシタイト思ヒマス、御許シヲ願ヒタイ

○議長(公爵德川家達君) 谷子爵ノ委員會へ退席ノ要求ハ御異議ハアリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕  
○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、肥料取締法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

肥料取締法改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十一年三月十九日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵德川家達殿

#### 肥料取締法

第一條 本法ニ於テ肥料ト稱スルハ植物ノ營養ニ供用スル物料ヲ謂フ  
第二條 肥料ノ製造、輸入、移入又ハ賣買ヲ營業ト爲サムトスル者ハ地方長官ノ免許ヲ受クヘシ

肥料ノ調合又ハ製造業ニ伴フ肥料ト爲ルヘキ副產物ノ產出ハ之ヲ肥料ノ製造ト看做ス

前項ノ製造業及副產物ハ主務大臣之ヲ指定ス

第三條 前條第一項ノ免許願書ニハ製造者ニ在リテハ製造場ノ位置、製造及藏置ニ關スル設備、肥料ノ名稱及製造方法ヲ、輸入者、移入者又ハ賣買者ニ在リテハ肥料ノ名稱及營業所ノ位置ヲ記載スヘシ

前項ニ依リ願書ニ記載シタル事項ヲ變更セムトスルトキハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 肥料營業者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ肥料ニ保證票ヲ添附スヘシ

第五條 當該官吏ハ肥料營業者、運送業者又ハ倉庫業者ノ店舗、倉庫、工場、船車等ニ臨檢シ物品及帳簿其ノ他ノ書類ニ就キ検査ヲ爲シ必要ナル分量ニ限り無償ニテ肥料又ハ製造原料ヲ收去スルコトヲ得

當該官吏臨檢ノ際肥料ニ關スル犯罪アリト認ムルトキハ搜索ヲ爲シ又ハ

犯罪ノ事實ヲ證明スヘキ物件ノ差押ヲ爲スコトヲ得

臨檢、搜索及差押ニ關シテハ間接國稅犯則者處分法ヲ準用ス

第六條 肥料營業ノ免許ヲ受ケタル者正當ノ理由ナクシテ其ノ免許ノ日ヨ

リ一年以内ニ開業セス又ハ一年以上其ノ營業ヲ休止シタルトキハ地方長官ハ其ノ免許ヲ取消スコトヲ得

第七條 肥料營業者本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキ又ハ公益上必要ト認ムルトキハ地方長官ハ免許ヲ取消シ又ハ營業ヲ停止若ハ制限スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ地方長官ハ其ノ營業者ニ對シ三年ヲ超過セサル期間肥料營業ニ關スル一切ノ行爲ヲ禁スルコトヲ得

第八條 植物ノ營業ニ供用スル物料ニシテ地方長官ニ於テ主務大臣ノ認可ヲ得テ指定シタルモノハ之ヲ他ノ用途ニ供スル爲製造、輸入、移入又ハ賣買スル場合ニ限り本法ヲ適用セス

第九條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ二千圓以下ノ罰金ニ處シ其ノ肥料及原料ハ刑法第十九條ノ物ニ非サル場合ト雖之ヲ沒收スルコトヲ得

一 詐欺ノ行爲ヲ以テ免許ヲ受ケタル者

二 肥料ヲ偽造シ又ハ人ヲ欺罔スルノ目的ヲ以テ肥料ニ他物ヲ混和シタル營業者

三 偽造シ又ハ人ヲ欺罔スル目的ヲ以テ他物ヲ混和シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者

四 肥料ニ虛偽ノ保證票ヲ添附シタル營業者又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ他ノ肥料ニ使用シタル營業者

五 虛偽ノ保證票ヲ添附シタル肥料又ハ他人ノ保證票若ハ他人ノ保證票ヲ有スル容器ヲ使用シタル肥料ヲ輸入、移入又ハ授受シタル營業者

第十條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ千圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處シ第一號乃至第四號ノ場合ニ於テハ其ノ肥料及原料カ刑法第十九條ノ物ニ非サルトキト雖之ヲ沒收スルコトヲ得

一 免許ヲ受ケシテ肥料營業ヲ爲シタル者

二 第七條ニ依ル命令ニ違反シタル者

三 免許又ハ認可ヲ受ケサル製造方法ニ依リ肥料ヲ製造シタル營業者

四 免許又ハ認可ヲ受ケサル肥料ヲ製造、輸入、移入又ハ賣買シタル營業者

五 認可ヲ受ケシテ製造場ノ位置又ハ製造若ハ藏置ニ關スル設備ヲ變更シタル營業者

第十一條 左ノ各號ノ一二該當スル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

一 第四條ニ依ル保證票ヲ添附セサル營業者

第十二條 肥料營業者カ未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ依リ之ニ適用スヘキ罰則ハ之ヲ法定代理人ニ適用ス但シ其ノ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第十三條 肥料營業者ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ニシテ其ノ業務ニ關シ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ノ規定ニ違反シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免ルルコトヲ得ス

第十四條 明治三十三年法律第五十二號ハ本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ依ル犯罪ニ之ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前ニ於ケル肥料ノ製造販賣又ハ販賣ノ免許ノ效力ハ明治四十一年十二月三十一日限トス

〔國務大臣松岡康毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(松岡康毅君) 唯今議題ニ上ボリマシタ肥料取締法ハ、現今施行サレテ居リマスル法律ハ略々六箇年バカリ經過ヲ致シマシタコトデゴザイマスガ、當初該法ノ制定當時ヨリハ肥料ノ需要高ガ年一年ト增加イタシマシテ、近時ニ至リマシテハ外國輸入ノ肥料ノ金高ヲ積リマスルト約三千七八百萬圓ト申ス高ニ上ボリマシタ、又内地ノ肥料ニ於キマシテモ總額凡ソ三千萬圓ト申ス大數ニナリマシタコトデゴザイマス、ソレユエ現行ノ法律ニ於キマシテハ產額ノ少イ時分ニハ強ヒテ不足ヲ感ジマセナシダガ、追々需要ノ增加スルニ従ツテ取締法ノ不備ナル點ヲ見出ダスコトニナリマシタノデゴザイマス、殊ニ人造肥料ノ多ク行ハレマスヤウニナリマシテカラハ、追々製造會社ノ數モ増シマスル、或ハ其業務ヲ擴張モ致シマス、從ツテ其販路ヲ競爭スルコトモ甚シクナリマシタ、サウナリマスルト間々粗製濫造ノ品ヲ以テ一時ノ利ヲ得ルモノモ其間ニ生ズルコトヲ免レナイ次第ニ立至リマシタ、デ段々今申上ゲマスヤウニ現行法ノ不備ノ點ガ現ハレマシタ次第デゴザイマス、依ツテ此現行法ノ不足ノ所ヲ補ヒ、又多少ノ改良ヲ加ヘマシテ農家ノ需要者ヲ保護イ

タシマスル、一面ニハ製造會社、正當ナル製造會社ヲ保護シテヤリマシテ、不正當ナルモノノ營業ヲ防遏スル手段ヲ執ラヌケレバナラヌ次第ニ立至リマシタ、ソレ故ニ簡單デハゴザイマスケレドモ、重要ナル箇條ヲ修正イタシタイ積リデ本案ヲ提出イタシマシタコトデゴザイマス、宜シク御審議ノ上、御協贊ヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第五ニ移リマス、明治三十九年度豫備金支出ノ件外六件承諾ヲ求ムル件、政府提出、衆議院送付、會議

明治三十九年度豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件  
臨時軍事費特別會計豫算超過支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十一年三月十九日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

右  
明治三十九年度豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度清國事件第二豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度特別會計豫備金支出ノ件

明治三十九年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件  
明治三十九年度臨時事件豫備費支出ノ件

明治四十一年二月十九日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

陸軍大臣臣子爵寺内正毅

農商務大臣松岡康穀

海軍大臣臣男爵齋藤實

司法大臣兼大臣大藏大臣

文部大臣臣男爵牧野伸顯

外務大臣伯爵林董

内務大臣信大臣臣伯爵原敬

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ選定ノコトハ前ニ議長ヨリ諸君ノ御意見ヲ伺テゴザイマスカラ、別ニ此際伺フニハ及ブマイト思ヒマス、此際諸君ニ御諮詢致シマスガ、政府提出案ノ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、刑事訟訴法中改正法律案、此三案ノ第一讀會ヲ是ヨリ開イテ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、然ラバ在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、並ニ府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案、右二案ノ第一讀會ヲ開キマス  
在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

右  
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十一年三月二十日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

文部大臣男爵牧野伸顯

外務大臣伯爵林董

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中左ノ通改正ス

第八條 特別ノ地域ニ在リテハ勅令ヲ以テ本法中主務大臣及領事官ノ管掌ニ屬スル事項ヲ行フヘキ者ヲ定ムルコトヲ得

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料  
法中改正法律案

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

明治四十一年三月二十二日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望  
文部大臣男爵牧野伸顯

府縣立師範學校長俸給並公立學校職員退隱料及遺族扶助料  
法中改正法律案

- 一 公務ニ就キ受クル給料ト退隱料トヲ合シタル金額退職現時ノ給料額  
ヲ超過スルトキ
- 二 公權ヲ停止セラレタルトキ

#### 第十條第二項以下ヲ左ノ如ク改ム

公立學校職員ニシテ教育事務ニ從事スル文官又ハ他ノ待遇文官ニ轉任シタル者退官又ハ退職シタルトキハ公立學校職員ノ在職年數ニ應シ前項ノ給與金ヲ給ス

第三條若クハ第四條ニ依リ退隱料ヲ受クル者、他ノ法律ニ依リ退隱料若クハ恩給ヲ受クル者、自己ノ便宜ニ依リ退職退官シタル者又ハ懲戒處分ニ依リ免職免官ニ處セラレ若クハ刑事裁判ニ依リ失職失官ニ該當シタル者ハ前二項ノ限ニ在ラス

本條ノ退職給與金ヲ受ケタル者公立學校職員ニ再任シ爾後退職シタルトキハ第一項ノ在職年數ハ其再任ノ月ヨリ起算ス  
本條ノ給與及之ニ關スル費用ハ轉任者退職者ノ轉任退職ノ際勤務セシ公立學校所屬府縣郡市町村ノ負擔トス

本法ハ明治四十一年五月一日ヨリ之ヲ施行ス  
本法施行前退隱料ヲ受ケタル者ニシテ本法施行後再公立學校職員ト爲リ在職滿三年以上ニ至ラスシテ退職シタル者ノ退隱料額算定方ハ仍從前ノ例ニ依ル

○國務大臣伯爵林董君  
本案提出ノ理由ヲ申上ゲマス、元來南滿鐵道會社ハ鐵道敷地内ニ於テ小學校ヲ設置スルコトノ義務ヲ持テ居リマスルノデ、既ニ五箇所バカリ小學校ヲ開イテアル所ガゴザイマス、此後モ益々學校ハ殖シ又前條ニ依リ給スヘキ退隱料ハ前項ニ依リ算出シタル十五年ノ額トス

#### 〔國務大臣伯爵林董君演壇ニ登ル〕

官吏恩給法第五條第四項第五條第六條第十條第十一條及第十三條第二項ハ退隱料ニ之ヲ準用ス  
第七條退隱料ヲ受クル者重罪ノ刑ニ處セラレ若クハ日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ退隱料ヲ剝奪ス  
但第一號ノ場合ニ於テハ其差額ニ限り支給ヲ停止ス  
マスルカラ、御審査ノ上御協賛ヲ願フコトデゴザイマス

○伊澤修二君 チヨット質問シタイ、此南満洲鐵道株式會社附屬地、即チ滿洲方面ニアリマスル指定學校ノ數ハドノ位アリマスカ、且又文部及外務大臣領事官ノ管掌ノコトニ付キマシテハ、是マデノ内地ノ學校トハ餘ホド制度デモ異ニセラル上ノ必要デゴザイマスカ、ドウ云フコトノ必要ヨリ斯ノ如キコトヲセラルノデアルカ、チヨット承ッテ置キタイ

〔國務大臣伯爵林董君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(伯爵林董君) 唯今鐵道敷地内ニ開イテアリマスル學校ハ五ツゴ

ザイマス、瓦房店、大石橋、遼陽、撫順、公主嶺

○伊澤修二君 チヨット今ノハ伺ヒ切レマセヌデゴザイマスガ

○國務大臣(伯爵林董君) 學校ノ數ヲ御質問デゴザイマシタ思ヒマスガ

○伊澤修二君 左様

○國務大臣(伯爵林董君) ソレハ五ツ開イテアリマス、其場所ハ瓦房店、大

石橋、遼陽、撫順、公主嶺、ソレカラ此認可ノコトハ外務文部兩大臣へ申請スル

ホド違ッタモノデアリマスカ、ドウ云フ點カラ斯ウ云フコトヲセラルノデ

アリマスカ、第一ノ問ハ

〔國務大臣男爵牧野伸顯君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 私カラ御答ヘ致シマスガ、在外ノ小學校ノ程度ハ略々内地ノ規程ニ準ジテ設備シテアリマスノデ、先づ同一ノ程度ト看做シテ宜シウゴザイマス

〔國務大臣男爵牧野伸顯君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵牧野伸顯君) 公立學校職員ノ退隱料法修正案ニ付キマシテ、其理由ヲ申上ゲマス、此修正案ノ要點ハ公立學校職員ノ退隱料ノ支給額ヲ高メルト云フノガ骨子デゴザイマス、十五年勤續ノ曉ニハ退隱料ヲ受ケル資格ガ出來ルノデアリマスガ、十五年目ニ於テハ從前ノ支給額ト異ルコトハナイノデアリマス、十五年以上ノ在職年數ニ於キマシテハ今後聊カ率ヲ高メテ支給シタイト云フノガ修正ノ趣意ノアル所デアリマス、中學程度ノ教員ノ俸給ハ誠ニ薄給デアリマシテ、地方ノ支出ニ俟テ居ルノデアリマス、地方ノ經濟ハ今日俄ニ俸給ノ増額ヲ許サヌノデアリマシテ、此レヲ優遇スル上ニ於テ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此退隱料ノ支給額ヲ聊カ増額ヲ

致シマシテ、安心ヲ與ヘテ長ク其職ニ從事スルト云フコトヲ得サセタイノデアリマス、是デ聊カ優遇ノ實ヲ舉ゲルコトガ出來ルト信ジマスノデアリマス、今日會期切迫ノ場合ニ於キマシテ此法案ヲ出ダスノハ甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、色々調査上ノ都合ガアリマシテ今日ニ至ッタノデアリマスガ、幸ニシテ此法案ノ通過ヲ得マスレバ、中學教員其他公立學校教員數千人ノ境遇ニハ多大ノ改良ヲ加ヘルノデアリマスルカラ、時期切迫ニ拘ラズ何卒御審議ヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問モ無イト認メマスカラ、特別委員ノコトデ御諸リヲ致シマスガ、是ハ兩案トモ同一委員デ御異議アリマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 刑事訴訟法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 刑事訴訟法中改正法律案、政府提出、第一讀會右

勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス  
明治四十一年三月二十三日

内閣總理大臣侯爵西園寺公望

陸軍大臣子爵寺内正毅

農商務大臣 松岡 康毅

海軍大臣男爵齊藤 實

司法大臣兼  
内務大臣  
遞信大臣

松田 正久

原敬

臣男爵牧野 伸顯

外務大臣伯爵林 董

刑事訴訟法中改正法律案  
第二百七十三條 上告ヲ爲スニハ其申立書ヲ原裁判所ニ差出ス可シ

原裁判所上告申立書ヲ受取リタルトキハ速ニ其謄本ヲ相手方ニ送達ス可シ



ハ適當ナコトト認メマシテ、委員會ハ異議ナク直ニ可決ニ相成リマシタコト  
デゴザイマス、現今學校ノ數ハ過日本議場デ御聞及ビノ通り三ツデアリマシ  
テ、第一ハ「ヨルサコフ」ニアルノデアリマス、第二ハ「ウラジミロフカ」ニア  
ルノデアリマシテ、第三ハ「マウカ」ニアルノデアリマス、ソレニ從事セル教  
員ノ數ハ十四名デアリマシテ、就學ノ兒童ハ合セテ千二百名ホドアルサウデ  
ゴザイマス、是マデハ権太廳ノ内規ニ依<sup>ツ</sup>テ教育シ來タリマシタガ、來月ヨ  
リハ即チ正式ノ小學校トナル譯デアリマス、其他、村落ニ於キマシテハ寺子  
屋風ノモノガ十一ホドアリマシテ、微々タルナガラモ教育ノ端緒ヲ開キカケ  
テ居ルト云フコトハ見ラレルノデアリマス、依<sup>ツ</sup>テ本案ト小學校令ト相俟<sup>ツ</sup>  
権太ニ於ケル教育ノ普及ト發達トヲ圖ルト云フコトハ望マシキコトト認メマ  
シテ贊成ヲ表シタコトデゴザイマス、此段御報告申上ゲマス、添ヘテ申上ゲ  
マスルガ、権太ニ於ケル小學校ニ關スル件ハ勅令第四十五號ヲ以テ本日ノ官  
報ニ見エタコトデゴザイマス、申上ゲマシタル如ク極ク單純ナ案デゴザイマ  
スカラ、讀會ヲ省略サレテ直ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○議長（公爵徳川家達君）議事日程第八、獸疫豫防法中改正法律案、政府提出、第一讀會、續、第一讀會、續、第九、畜牛結核病豫防法中改正法律案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告、石黒男爵

續 委員長報告 石黑男 獸疫豫防法中改正法律案

明治四十一年三月十九日

右特別委員長

男爵 石黒忠惠

貴族院議長公爵德川家達熙

畜牛結核病豫防法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十九日

貴族院議長公爵德川家達殿

爵石黒忠惠君演壇ニ登ル

右黒忠惠君 唯今、日程ニ上ッテ

○男爵石黒忠憲君 唯今、日程ニ上テ居リマス。獸疫豫防法中改正法律案ノ特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告申シマス。委員會ハ三月十九日ニ正副委員長

○子爵本莊壽巨君 贊成  
○伯爵吉井幸藏君 贊成  
○男爵野村素介君 贊成

「其他」贊成ト呼フ者多シ

○議長(公爵徳川家達君) 松木伯爵ノ讀會省略ノ動議ニハ成規ノ贊成ガアツ

起立者  
多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

卷之三

〔異議ナシト呼フ者アツ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認マス

清ヲ多量ニ要スルト致シマスルト、或ハ内國デ造リマスルモノノ外ニ外國カラモ之ヲ求メラルト云フヤウナ場合モアリマセウガ、是ガ其場合ニ於キマシテハ十分ノ分量ガ求メ得ラレルヂャヤラ、又直段等ハドンナニアラウカト云フ問ヒデゴザイマシタ、所ガ政府委員ノ答デハ、第一問ノ此血清ノ有效ナルコトハ既ニ幾多ノ經驗ニ依リマシテ、確認ヲセラレテ居リマシテ、學界ニ於キマシテモ固ヨリ是認ヲシテアリマスルノデ、之ガ爲ニハ學會ニ報告等モ發シテアルト云フ答デアリマシタ、第二ノ血清ノ有效期限ハ六箇月ヨリ一箇年クラヰノゼノデ、農商務省デハ常ニ十萬「ガラム」ノ血清ヲ準備シテアルサウデアリマス、十萬「ガラム」アリマスルト凡ソ千頭ノ牛ニ注射スルコトガ出來ルノデ、併シ千頭ノ牛ガ此病ニ傳染ヲシテ居リマスル間ニハ、直グニアトノ準備ガ出來マスルカラ、分量ニ於テハ之ヲ多量ニ用ヰテモ差支ナイト云フ答デゴザイマシタ、ソレカラ第三ノ若シ之ヲ多量ニ要スル場合、若クハ急速ニ要スル場合ニ、内國デ準備ガ届カヌカッタキニハ、外國カラ取寄セナケレバナラヌ、其時ニハドウカト云フ問ヒニ對シマシテハ、此牛疫ト申シマスル、即チ「リンデルペスト」、此「リンデルペスト」ハ現今ハ歐羅巴若クハ亞米利加等ニハ殆ド絶エテゴザリマセヌノデ、僅ニ東洋ニ此病ガ殘ツテ居リマスル……流行イタシテ居リマスルノデゴザイマスカラ、無論歐羅巴亞米利加ニハ此牛疫ハゴザリマセヌ故ニ、血清製造等モ出來マセヌノデ、是ハ專ラコチラデ造ラレルノデアリマス、即チ其血清製造ノ方法ニ至リマシテハ、歐羅巴ノ大家ノ原則ニ依リマシテ造ラレマスル趣デゴザリマスル、併シ此製作若クハ試験イタシマシテ、今日ニ至リマシタノハ、殆ド我國ノ獸醫學者ガ之ヲ造ラレマシタノデゴザイマスルデ、一々外國カラ仰グト云フコトハゴザイマセヌ趣デ十九頭死亡ヲ致シマシテ、百二十五頭ガ全治イタシタ云フ經驗ガアル、又其砌ニ其發生地附近二十四箇所ニ於キマシテ五百六十一頭ニ注射ヲ致シマシタガ、此五百六十一頭ノ牛疫ニ罹リマシタル牛ニ注射ヲ致シマシタ中デ五十頭死亡ヲ致シマシテ、百二十五頭ガ全治イタシタ云フ經驗ガアル、又其砌ニ其發生地附近二十四箇所ニ於キマシテ五百六十一頭ニ注射ヲ致シマシタガ、此五百六十一頭ノ牛疫ニ罹リコトナクシテ安全ニ終リマシタ云フ經驗ガゴザイマスルサウデ、此經驗ニ依ツテ是ハ有效ト確認シテ使

フト、斯ウ云フ當局者ノ答デゴザイマシタ、大體ニ就イテノ質問ハ大凡唯今申上ゲマシタ位ノモノデ、ソレカラ各條ニ付キマシテハ搔摘ンデ要用ノ所ダケ申上ダマス、第四條ノ第一項ニ但書ヲ加ヘラレマシタノハ、此改正ハ此前モ述ベマシタ如ク從前ハ總テ撲殺ヲ致シマシテ豫防イタシマスル、併ナガラ此血清注射ヲ致シマシテモ、百四ガ百四ナガラ免レルト云フモノデゴザイマセヌデ、或ハ血清注射ノ僅カ前ニ感染ヲ致シテ居リマスルト云フヤウナモノモゴザリマスル故ニ、強チ此百四ニ注射ヲ致シタモノガ、百四ナガラ助カルト云フ譯デハナイカラ、取除ケヲ致シテ置カナケレバナラスト云フノデ、此第四條ノ二ト云フモノガ加ヘラレマシタノデゴザイマス、ソレカラ、次ハ第十條ノ第三號デゴザイマスルガ、是モ前述ノ譯デ、血清若クハ豫防液ヲ注射イタシマシテモ、尙ホ撲殺セザルヲ得ザル場合ノ爲ニハ、此規定ガゴザイマセヌケレバ相成リマセヌノデ、是ハ加ヘラレマシタノデゴザイマス、ソレカラ第十二條ノ所ニ第二項ヲ加ヘラレマシタガ、是モ一定ノ……「警察官及獸醫又ハ檢疫委員ニ於テ必要ト認ムルトキハ一定ノ期間獸疫ニ罹リ又ハ其ノ疑アル獸類ヲ繫留シタル場所及其ノ近傍ニ對シ交通ヲ遮断スルコトヲ得」是モ質問ガゴザイマシテ一定ノ期間ト云フノハドノ位ノ期間ヲ言フカト云フ質問デゴザイマシタガ、當局者ハ是ハ一周カラ長クテ三週マデデアル、斯ウ云フヤウナ答デアリマシタ、此交通遮断ト申シマスルコトガ茲ニ現ハレテ參リマシタノハ、是ハ人間ノ傳染病ナドニハ此交通遮断ト申スモノガゴザイマスルガ、ゴザイマス、ソレデソレニ附加ヘマシテ、然ラバ是ハ本邦ニ於テ殆ド製造シタ云フヤウナモノデモゴザイマスレバ、ドノ位ノ經驗ヲ以テ確認セラレマシタノデゴザイマスルカト云フコトヲ質問イタシマシタラバ、一昨年牛疫發生ノ砌ニ之ヲ澤山ニ經驗ヲ致サレマシタ趣デ、即チ牛疫發生地ノ六箇所ニシタモノデゴザイマスルカト云フコトヲ質問イタシマシタ、此區域ハドノクラヰ交通遮断ヲスルモノデアルカト云フコトヲ質問イタシマシタ、此區域ハ向フ三軒兩隣リト及ビ裏ト云フ位ノモノデアリマス、多クハ廣域ハナイト云フコトデゴザイマシタ、又或ル委員カラ此交通遮断ハ色ニ心配イタサレマシテ質問ガゴザイマシタガ、經驗上コレハ誠ニ入用デアルカラ入レタガ、決シテ濫ニ此交通遮断ハ致サヌト云フコトデ、細則ニ於テ規定スル、斯様ナル答デゴザイマシタ、ソレカラ第十四條ノ新ニ加ヘラレタルモノデゴザイマスルガ、是ハ検査ニ止メマセヌデ、此注射ヲ行ヒマスル、斯

ウ云フコトハ矢張リ是ハ今ノ血清、並ニ豫防液ノ譯カラ加ヘラレマシタノデ、唯検査バカリデナク、検査ノミニ止メズ、検査ヲ致シテ兼ネテ血清、若クハ豫防液ノ注射ヲ致ス、斯ウ云フノデ是ガ這入リマシタノデゴザイマス、ソレカラ同ク十四條ノ二ニ「注射ヲ行フ場合ニ於テ助力ヲ要求シタルトキハ」トスウ云フコトデゴザイマスガ、是モ委員カラ段々質問ガゴザイマシタ所ガ、此助力ト云フコトハ、「體或ル農家ナラ農家ニ獸疫ガゴザイマシテ、是ニ検疫吏員ガ來タリマシテ注射ヲ致ストカ云フ場合ニ於キマシテ、手ヲ要シマスルトキニ、ナカナカ持主ガ或ル場合ニ於テハ之ヲ避ケマスル爲ニ手傳ヲ致シマセヌ、ト云フヤウナコトデ色ニ差支ガゴザイマスルカラ、是ハ茲ニ規定ヲシテ、此獸類ノ持主ハ右ノ場合ニ於キマシテ手傳ヲ致スト云フコトニ之ニ規定ヲサレマシタ、斯様ナルコトデゴザイマス、ソレカラ第十五條デゴザイマス、十五條ハ今マデ「外國ヨリ獸疫侵入ノ危險アリト認ムルトキハ」云々ト改正ニナリマイマンタガ、之ヲ「外國又ハ本法ヲ施行セサル地方ヨリ」云々ト改正ニナリマシタ、此十五條ノ改正ニ相成リマシタノハ、例へバ外國デゴザリマセヌ臺灣ト云フヤウナ所カラ輸入デナク移入ヲ致ス場合ニモ此檢疫ヲ致スト云フ斯ウ云フ必要ガアルカラ此十五條ヲ新ニ加ヘラレマシタノデゴザイマス、ソレカラ第十七條……第十九條ヲ削ラレマシタガ故ニ第十七條ガ這入リマシタノト云フヤウナ所カラ輸入デナク移入ヲ致ス場合ニモ此檢疫ヲ致スト云フ斯ウ云フ必要ガアルカラ此十七條ヲ新ニ加ヘラレマシタノデゴザイマス、ソレデ、是ハ第十九條ガ削ラレマスルト云フト、色ニ罰則ノ方ニ差支ガ出來マスルノデ、此十七條ヲ新ニ加ヘラレマシタノデゴザイマス、尙ホ其他ニ僅力バカリノ文字ノ改正等ガゴザイマスルガ、之ニ付キマシテハ若シ御疑義ガゴザイマシタラバ政府委員ニ御尋ねト願ヒタウ存ジマス、獸疫豫防法ノ方ハソレダケデゴザイマス、ソレカラ同ク議題ニ上ツテ居リマス畜牛結核病豫防法中改正法律案、是ハ御承知ノ如ク畜牛結核病豫防法ノ第七條ノ其本文ニ「外國ヨリ輸入スル畜牛ニ輸入申告後特ニ定メタル場所ニ於テ「ツベルクリン」注射ノ方法ニ依リ之ヲ検査ス」此外國カラ畜牛ガ輸入サレマスルト云フト、必ズ「ツベルクリン」ヲ注射シテ、サウシテ此牛ノ結核ノ有無ト云フモノヲ検査ヲ致シマシテ輸入スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスルノデゴザリマスル、所ガ同ク外國デモ朝鮮カラ參リマスル牛ハ殆ド結核ハ皆無デアルノニ、矢張リ「外國ヨリ」云々ト云フ此第七條ノ文ニ依リマシテ、無イト認メツツモ之ニ「ツベルクリン」ヲ注射スルト云フ手數ヲ致シマシテ、爲ニ輸入者モ

官モ手數ヲ勞シテ居リマスル、故ニ之ヲ朝鮮カラ這入リマスモノダケハ、「ツベルクリン」ヲ注射ヲ致サヌデモ、……疑ノ無イモノハ「ツベルクリン」ヲ注射ヲ致サヌデモ濟ムヤウニ規定シタイト云フノデ、此但書ガ加ハリマスルノデゴザイマス、斯様ナコトデゴザイマス、ソレデ然ラバ此朝鮮カラ輸入スル所ノ牛ノ結核ノ有無ト、他ノ外國カラ這入リマスル牛ノ結核ノ有無ハ、ドンナ比例デアルカト云フコトヲ數字ノ上ニ於テ「承々テ見タイト云フ質問ガゴザイマシタ、所ガ當局者ノ答ニハ、明治三十八年、三十九年、四十年、三箇年ニ於キマシテ歐羅巴亞米利加、若クハ大洋洲等カラ輸入イタシマシタ畜牛ガ四百四十二頭ゴザイマス、此四百四十二頭ノ中デ此「ツベルクリン」注射ヲヤリマシテ、結核反應ヲ起シマシテ、結核ノゴザイマシタモノガ九頭、輕症ガ一頭、都合十頭ゴザイマス、朝鮮カラ輸入ヲ致シマス牛ハ明治四十年一箇年一百六十五頭ノ中デ僅ニ十四ナラデハ結核ノ疑似ノモノハゴザイマセヌ、斯ノ如クニ少數デアル故ニ此朝鮮カラ參リマスル牛ハ「ツベルクリン」ノ注射ヲ廢シテ宜カラウ、斯ウ云フノデアル、併ナガラ全然之ヲ廢スルト云フノデハナ様ナル答デゴザイマシタ、以上委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ゲマスク、見マシタ所ノ兆候ニ於テ少シデモ疑ヒノゴザイマスルモノハ注射スルガ一般ニ殘ラズニ注射スルト云フコトハ致サヌデ宜イト云フコトヲ認メタ、斯ノ田中芳男君、此案ハ最早明瞭ニナリマシタヤウニ考ヘマスルカラシテ、讀會省略ヲ以テ、兩案トモ終ルヤウニ致シタイ

○南鄉茂光君 読會省略賛成

○子爵堤功長君 読會省略賛成

○男爵松平正直君 賛成

○男爵野田鈴通君 賛成

○男爵石黒忠惠君 賛成

○三宅秀君 讀會省略賛成

○伊澤修二君 賛成

○子爵板倉勝達君 賛成

○議長(公爵德川家達君) 田中君ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成者ガアツタ  
〔其他「贊成」ト呼フ者多シ〕

ト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 兩案トモ委員長ノ報告通リテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵岡部長職君 满洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案ノ特別委員ノ報告ハ差出シ置キマシテゴザイマスルガ、此際議事日程ヲ追加サレマシテ本案ヲ

議セラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵寺島誠一郎君 贊成

○伯爵萬里小路通房君 贊成

〔其他」贊成」ト呼フ者多シ〕

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ議事日程追加ノ動議ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ満洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會ノ續ヲ開キマス、特別委員長報告、岡部子爵  
満洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案  
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十日

右特別委員長

子爵 岡 部 長 職

(子爵岡部長職君演壇ニ登ル)

○子爵岡部長職君 本案ハ治外法權ノ行ハレテ居リマスル清國、暹羅等ニ於

キマシテノ領事裁判ニ關スル件ニ付イテ、此滿洲ニ於ケル領事裁判ニ關スル法律案デアリマス、是ハ丁度領事裁判ニ關スル除外例ト申シテモ宜カラウト

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

起立者 多數

〔其他」贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成者ガ

アツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

存ジマスノデアリマス、現行法即チ明治三十二年法律第七十號ニ規定サレテ居リマスル其九條「領事官ノ豫審ヲ爲シタル重罪ノ公判ハ長崎地方裁判所之ヲ管轄ス」第十條ニ「領事官ノ管轄ニ屬スル刑事ニ關シ國交上必要アルトキハ外務大臣ハ其ノ事件ヲ管轄スヘカラサルコトヲ領事官ノ爲シタル裁判ニ對スル國ノ監獄ニ移送セシムルコトヲ得」第十二條ニハ「地方裁判所ノ權限ニ屬スル事項ニ關シ領事官ノ爲シタル裁判ニ對スル控訴又ハ抗告ハ長崎地方裁判所之ヲ管轄ス」トアリマス、之ヲ本案ニ於テハ

關東都督府法院ノ方ニ管轄セシムルト云フコトニナリマスノデ、先日第一讀會ヲ開カレマシタ節ニ、當局大臣ヨリ説明モアリマシタル通り、既ニ關東州ニ於テ法院ヲ設ケラレマシテアリマスル今日デアリマスルカラ、滿洲地方ニ於テ領事裁判ニ關係シテ控訴等ヲ致スノニ態ミ長崎マデ之ヲ移シテ參ルト云フコトハ隨分不便ナルコトデモアルシ、極ク接近ノ地方ニ在ル所ノ關東都督府ノ法院ニ其裁判事務ヲ管轄セシムルノガ便宜ノコトト考ヘルノデ、此案ヲ提出シタト云フ説明デアリマシタ、此案ハ極ク簡明ナルモノデアリマス、委員會ニ於キマシテモ二三質問ハアリマシタガ、一ノ異議ナク速ニ可決イタシマシタ次第デアリマス、斯ク明瞭ナル議案デアリマスカラシテ、ドウカ讀會ヲ省略サレテ速ニ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○田中芳男君 贊成

○南郷茂光君 贊成

○子爵士御門晴榮君 贊成

○伯爵萬里小路通房君 贊成

○子爵大田原一清君 贊成

○子爵入江爲守君 贊成

○周布公平君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 岡部子爵ノ讀會省略ノ動議ニハ定規ノ贊成者ガ

アツタト認メマス、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 本案、御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○男爵野田鈴通君 私ハ緊急動議ト致シマシテ、陸軍營繕費補充資金特別會計法案、並ニ明治二十三年法律第二十七號中改正法律案、此二案ハ會期モ切迫イタシテ居リマスカラ致シマシテ、議事日程ニ追加サレムコトヲ要求イタシマス

○男爵西五辻文仲君 賛成

○議長（公爵徳川家達君） 野田男爵ノ兩案ノ第一讀會ノ續ヲ此際開ク爲ニ議事日程ノ追加ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（公爵徳川家達君） 御異議ナイト認メマス

○議長（公爵徳川家達君） 是ヨリ兩案ノ一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長報告、野田男爵

陸軍營繕費補充資金特別會計法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十日

右特別委員長

男爵 野田 鈴通

貴族院議長公爵徳川家達殿

明治二十三年法律第二十七號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月二十日

右特別委員長

男爵 野田 鈴通

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵野田鈴通君演壇ニ登ル〕

○男爵野田鈴通君 特別委員會ノ審査ノ結果ヲ御報告イタシマス、陸軍營繕

費補充資金特別會計法及明治二十三年法律第二十七號中改正法律案ハ同一委員ニ付託ヲ致サレマシタニ依リマシテ、委員會ノ審査ノ報告モ併セテ御報道ヲ致シマス、特別委員會ハ二回開會ヲ致シマシテ、政府委員ノ説明及各委員ヨリ種々ナル質問ガゴザイマシテ、其結果、營繕費補充資金特別會計法案ニ付キマンテハ一人ノ反對者ガゴザイマシテ、他ハ皆原案可決ニ賛成イタサレマシテゴザイマス、又法律第二十七號中改正案ノ方ハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマシタノゴザイマス、此兩案トモ法文ハ極ク簡単ゴザイマスケレドモ、陸軍ニ取りマシテハ重要ナル事件ト存ジマスデゴザイマス、速記錄モ今

朝配付ニナリマシテ、未ダ諸君ハ十分ニ御覽ノ時モアリマスマイト存ジマスカラシテ、委員會審査ノ概略ヲ申述ベマスデゴザイマス、營繕費補充資金特別會計法案ノ方ハ、提出ノ理由ハ、近年陸軍師團增設等ニ付キマシテ、陸軍ノ管轄土地及建造物ガ增加廣大ニナリマシタル爲ニ、從前定メテゴザイマスル所ノ此修理費ガ不足ヲ致シマシテ、之ヲ補充イタシマスルニ付キマシテハ、修繕費ノ増額ヲ仰グノガ當然デゴザイマスルケレドモ、御承知ノ通り既ニ陸軍ニ於キマシテハ本年ハ事業ノ繰延モ致サルルト云フ次第デゴザイマスカラ、修繕費ノ増加ト云フコトハ容易ニ出來兼ネマスル次第デゴザイマスガ故ニ、陸軍省ニ於キマシテハ種々研究ノ結果、陸軍所轄ニ屬シマスル所ノ土地及建造物ノ現ニ使用イタシマセヌ所ヲ經濟的ニ利用イタシマシテ、是ヨリ生ズル所ノ收入ヲ以テ營繕費ノ補充ニシタイト云フ目的ニ依リマシテ此法案ヲ提出イタシタト申スコトデゴザイマス、付キマシテ段々委員ヨリ質問ニ及ビマシテ現今陸軍省ニ於テ管轄ヲ致シテ居リマスル所ノ土地及建造物ノ坪數ハ幾バクデアルカ、且又此法律案ガ成立イタシマス以上ハ、一箇年ニ幾バク位ノ收入ヲ得ラレル豫定デアルカト云フコトヲ質問ヲ致シマシタ所ガ、土地ハ總坪數三億八千二百六十二萬四千坪餘、建造物ハ百六十萬坪餘デアルト云フコトデアリマス、尤モ此建造物ハ即チ陸軍本省、參謀本部其他各師團、官解ノ建物及兵舍倉庫モ含入ヲ致シテ居リマスノゴザイマス、是ハ現ニ使用ヲ致シテ居リマスモノガ大部分ゴザイマシテ、其空屋等ヲ以テ此貸下ゲ等ニ利用ヲ致シマスモノハ先づ少トイト云フコトデゴザイマス、併ナガラ土地ハ前申シマス通リ三億八千二百萬餘坪ノ中デ五十分ノ一クラヂハ利用スルコトガ出來ルト云フコトデゴザイマス、此五十分ノ一ノ坪數

キマシテハ現使用上ノ上ニ付イテ差支ノ無イ場所ハ從來買入レマス當時田畠デゴザイマシタ土地モゴザイマセウシ、又造林ニ差支ノ無イ所ハ造林ヲ致シテ行クト云フコトデゴザイマス、就中、九州四國ノ如キ樟ニ適當シマシタル土地ニ於キマシテハ、樟苗ヲ植付ケテ參ルト云フ目的デアルト云フコトデゴザイマス、ソレデ唯今ノ所デ一箇年ノ收入ガ幾バクアルト云フコトハ明言ハ出來マセヌケレドモ、右ノ如ク造林ヲ致シ又現ニ桑、楮、果樹等ノ如キモノハ直ニ年々拂下ゲマシテ其收益ヲ得ルコトモ出來マス、又造林ヲ致シマス所ノ資本ハ改正法律第二條ニゴザイマス雜收入ト云フ中デ、此雜收入ハ四十二年度ニ於キマシテハ約二十七萬圓ホドノ見込デアルト云フコトデゴザイマス、此金ヲ以チマシテ一方デハ必要ナル修繕ノ補足ニ充テ、又唯今申シマス所ノ造林等ノ資本ニ充テ参リマスレバ、樟苗ヲ植付ケマシテ六箇年目ニ刈取リマスレバ一町歩ニ付イテ四十六圓餘ノ收入ガアルト云フコトデゴザイマス、是ハ陸軍省ノ調べノミナラズ農商務省ニ就キマシテ取調ベマシタ金高ト云フコトデゴザイマス、是等ノ收入ヲ以チマシテ生産的ニ謂ハユル遺利ヲ拾ヒマシテ、有利ナル經濟的ニ使用ヲシテ参リマスル以上ハ、年々收入ヲ增加スルノ見込デアルカラ致シマシテ、此法律ヲ制定イタシマスレバ單ニ陸軍ノ經濟ノミナラズ國家經濟ノ一端ヲ補フコトニモナルト云フ陸軍省ノ見込ト申スコトデゴザイマス、段々增加スルニ從ヒマシテハ營繕費ノ不足ヲ補フノミナラズ、既定ノ營繕費ヲシテ尙ホ減少スルコトモ出來ル時機ガ將來ニ於テハ出來ルデアラ、ウト云フコトデゴザイマス、右ノ次第デゴザイマスカラ、特別委員會ニ於キマシテハ、一人ノ反對ノ他ハ皆原案ヲ可決イタシマシタデ付キマシテハ利ナリト認メマスケレドモ、此事柄ニ付イテハ將來弊害ガ起リハセヌカト云フ杞憂ヲ有ツテ居ラレマスコトデ、是ハ私アタリニ於キマシテハ利ナリト認メマスガ、此法案ニモ同様ノ感ヲ懷キマシタニ依リマシテ、尙ホ陸軍ノ政府委員ニ就キマシテ、十分其邊ノ取締ノコトニ付キマシテハ、陸軍大臣ニ於キマシテ將來弊害ノ生ジマセヌヤウニ、十分ナル取締法ヲ設ケラレムコトヲ要求ヲ致シマシタ、政府委員モ固ヨリ陸軍省ニ於テモ其方針ヲ採テ居ルト云フコトデゴザイマス、又明治二十三年法律第二十七號中改正法律案改正ノ理由ヲ申上ゲマスレバ、現行法第三條ニ於キマシテ「經理委任ニ係ル給與ノ殘金ハ各、其費目ニ屬スル積立金ト爲シ便宜之ヲ使用スルコトヲ得」トゴザイマス「殘金」ノ下ノ「ハ

各、其費目ニ屬スル」ノ九字ヲ削リマシテ「廢物賣却代金及補償金ハ之ヲ」ノ十三字ヲ加ヘマス、又「便宜之ヲ」ノ四字ヲ削リマシテ「委任經理ニ係ル費途ニ」ノ十字ヲ加ヘルコトノ改正案デアリマス、此改正案ノ精神ハ、現行法律デゴザイマスレバ、各隊ノ委任經理ハ糧食、被服、消耗品、陣營具及馬匹ノ五ツニ區分セラレテ居リマスノデゴザイマス、而シテ其費目毎ニ定額ヲ定メマシテ、而シテ之ヲ各隊長ニ經理ヲ委任シテアルノデゴザイマス、然ルニ戰後追ミ物價ガ騰貴ヲ致シマシタル爲ニ、各隊委任經理ニ頗ル困難ヲ來タシタト申スコトデゴザイマス、就中、此糧食ニ至リマシテハ最モ十分ニナイ次第デゴザイマス、故ニ今日ノ文明的ノ器械、即チ瓦斯電氣ノ如キ便宜ノ器械ヲ炊事場或ハ洗濯場ト云フ場所ニ應用ヲ致シマシテ、是マデ各隊各中隊毎ノ小部分ノ經濟ヲ立テ居リマスル所ニ右様ナ利器ヲ應用イタシマシタナラバ、糧食ノ費目ニ於キマシテ餘ホド餘裕ヲ經濟的、生ズルデアラウト云フコトデゴザイマス、故ニ此各費目毎ニ是マデ積立ヲ致シテ居リマスモノヲ其殘金ハ合同シテ便宜之ヲ辯スルノ途ヲ開キタイト云フコトデゴザイマス、此骨子ハ僅ニ各費目毎ニ是マデ定額ヲ以テ交付シテ居ラレマシタモノヲ其區分ヲ取りスルノ見込デアルカラ致シマシテ、此法律ヲ制定イタシマスレバ單ニ陸軍ノスコトデゴザイマス、段々增加スルニ從ヒマシテハ營繕費ノ不足ヲ補フノミナラズ、既定ノ營繕費ヲシテ尙ホ減少スルコトモ出來ル時機ガ將來ニ於テハ出來ルデアラ、ウト云フコトデゴザイマス、ソレハ唯今申述ベマス通リ此委任經理ノ被服、此點ニ付キマシテハ政府委員ニ就キマシテ質問ヲ致シ、又政府ノ意思モ確メテハ置キマシテゴザイマス、ソレハ唯今申述ベマス通リ此委任經理ノ被服、陣具、馬匹ノ如キハ是ハ保存期限ト云フ年限ヲ定メマシテ、ソレヨリ算出イタシマシタ金ヲ定額トシテ各隊ニ交付サレテ居リマスノデゴザイマス、其期間ニ間ハ此定額ヨリ維持ヲ致シテ行キマス義務ヲ持テ居リマスモノデゴザイマス、然ルニ之ヲ合同イタシマシテ單ニ一方ノ方ノ不足ノミニ使用イタシマシテ參リマス曉ニハ、保存期限ノ義務アルモノヲ將來如何ニシテ行クト云フコトノ維持法ガ確ニ立ツテ居リマセヌケレバ、本員等ハ同意ガ出來ナイ事項デゴザイマス、其事ニ付キマシテハ陸軍省ハ此法律案ガ成立ヲ致シマシテ各費目毎ノ分ヲ一ツニ致シマストキニハ、保存期限ノ屬シマスマノノ維持ハ簿ヲ設ケマシテ、サウシテ保存期限ノ義務アル間ハ其金ハ其品目ニ對スル給與ヲ致ス積リデアルト云フコトデゴザイマス、此法律ガ成立イタシマシテモ

一般ニ應用イタシマス所ノモノハ糧食殘金其他馬匹ノ賣却金等、保存期限ノ關係ヲ持テ居ナイ金ヲ應用スルト申スコトデゴザイマス、是ハ即チ各隊委任經理ノ一大刷新デゴザイマシテ、其實行上ニ宜シキヲ得マスレバ各隊委任經理ノ一進歩ト認メマシテ宜シカラウト存ジマス、唯將來ニ於テ杞憂ヲ致シマス所ハ今ノ保存期限ニ關係イタシマス品種ニ付イテノコトガ差支ナイヤウニ參リサヘ致シマスレバ最モ此改正案ハ宜シキヲ得タモノト存ジマス、付キマシテハ幸ニ今日ハ陸軍大臣モ御出席ニナツテ居ルカラ致シマシテ此費用ニ付キマシテ保存期限ノ義務アル品種ハ將來ニ於テ給與上ニ差支ノ無イコトニ御取計ヒニナルト云フコトニ付イテ、トウゾ此席デ御保證ヲ得テ置キタイト思ヒマス、而シテ唯今申述ベマス通り大臣ノ立言ガゴザイマシタナラバ、法文ハ極ク簡單ナモノデゴザイマスカラ讀會省略ヲ以テ可決アラムコトヲ希望イタシマス

○子爵曾我祐準君 前案ノ……唯今御報告ノ前案ニ付イテ委員中ニ反對ガアツテ、サウシテ弊害ガアルカモ知レヌト云フ御話デゴザイマシタガ……委員長ノ御話デアリマシタガ、唯弊害ト云フダケデ、其弊害ニ付イテハ一言モ御話ガゴザイマセヌカラ、ドンナ弊害ガアルカ、即チ審查上ドウ云フ弊害ガアリハセヌカト云フ點ヲ一言承ツテ置キタイノデアリマ

○子爵曾我祐準君 前案ノ……唯今御報告ノ前案ニ付イテ委員中ニ反對ガアツテ、サウシテ弊害ガアルカモ知レヌト云フ御話デゴザイマシタガ……委員長ノ御話デアリマシタガ、唯弊害ト云フダケデ、其弊害ニ付イテハ一言モ御話ガゴザイマセヌカラ、ドンナ弊害ガアルカ、即チ審査上ドウ云フ弊害ガアリハセヌカト云フ點ヲ一言承ツテ置キタイノデアリマ

○子爵野田豁通君 ソレハ營繕費ノ方ノ報告デゴザイマス、營繕費ノ方ニ付キマシテハ貸渡ヲ致シテ……斯ウ云フヤウナコトニ付イテ取扱上ニ、又其貸渡ノ取扱上ニ付イテ弊害ガアリハセヌカト云フコトデゴザイマシタ、尙ホ其事ニ付キマシテ委シコトノ何デゴザイマスレバ、ソレハ四條男爵ノ御意見デゴザイマシタカラ、若シ私ノ御辯明デ不十分デゴザイマシタナラバ尙ホ四條男爵カラ御答ニナルヤウニ致シタウゴザイマス

田舎ノ山岳デ牧馬……馬匹ヲ補充スル補充部ガアリマス、其外練兵場若クハ大砲ノ射的場ト云フヤウナモノハ餘ホド土地ノ品質ガ非常ニ違ッタモノデチヨット今調べテ居リマセヌ、申上ゲ兼ネマス、ソレカラ先刻、委員長ノ報告ノゴザイマシタコトヲ一言補ツテ置キマスルガ、全體此法案ハ陸軍省ガ造林ヲシマストカ、山林ノ經營ヲスルトカ云フ意味デハゴザイマセヌ、多數ノ地主ヲ有ッテ居リマスノデ、自然ニ雜木ノ生エル所モゴザイマス、又雜草ヲ收穫スレバソレダケノ利益ノアル所モゴザイマス、又兵營ノ如キモノハ人ニ貸スモノハナイガ、僅ナ家屋デモ市街ナドニアルモノハ其儘長ク抛ツテ置クヨリモ貸シタ方ガ宜イト云フモノガアル、ソレ等ヲ總テ利用シテ營繕費ノ補充ニシヤウト云フ、斯ウ云フ計畫デアリマス、又一方ノ委任經理ノ事ハ委任ノ範圍ヲ無限ニ擴張スルト云フコトハ一方ニ宜シクナイト云フ考モアリマスデ、濫ニ之ヲ擴ゲル考デハナイガ、此兵營内ノ總テノ些細ナル消耗シマスル費用ノ如キモノハ、既ニ此十數年アトノ計畫デ決メテ居ル、今日デハ其定額デ多少ノ融通ヲセヌケレバ實際ニ經濟ガヤリ切レナイ有様ニナツテ居ル、此範圍ヲ幾ラカ擴グマシテ、サウンシテ此差線ヲ圓滑ニスレバ、政府ガ更ニ特別ニ費用ヲ増サナクテモ暫ク行ケルダラウト云フ考ヲ持ツテ居ル、ソレ等ノ點ノ出來ルヤウニ多少ノ便利ヲ開キタイト云フ考カラ、此委任ノ範圍ヲ擴ゲタイト云フノデ、固ヨリ當局者トシテハソレニ付イテノ弊害ヲ防グト云フコトハ當然ノ事デ、其邊ニ付イテハ十分ノ注意ヲスル積リデゴザイマス

○南郷茂光君 読會省略ニ賛成

○谷新助君 賛成

○男爵松平正直君 賛成

○田邊輝實君 賛成

○男爵野村素介君 賛成

○男爵石黒忠惠君 賛成

○男爵茨木惟昭君 賛成

○田中芳男君 賛成

○伯爵柳原義光君 賛成

○男爵有地品之允君 賛成

○大谷嘉兵衛君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 三分ノニ以上ト認メマス

○木村誓太郎君 日程追加ノコトニ付イテ一言希望ヲ述ベタイ

○議長(公爵德川家達君) 木村君ニ申上ゲマスガ、ドウ云フコトデスカ

○木村誓太郎君 私ハ此會期切迫ノ際デゴザイマスルデスカ

○議長(公爵德川家達君) ソレハ此兩案ノ議事ガ終ツタ後デハドウデアリマスカ

○木村誓太郎君 唯今モウ終ツタト思ヒマシタガ……

○議長(公爵德川家達君) 議事ハマダ終リマセヌ、今兩案ノ採決ヲ致シ掛ケテ居ル所ト議長ハ考ヘテ居リマス、議長ガ採決ヲ終ツタナラバソコデ御發言ニナルノガ最モ適當ノ時機ト考ヘマスガ

○議長(公爵德川家達君) **〔異議ナシト呼フ者アリ〕**

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 木村君

○木村誓太郎君 會期切迫ノ際デゴザイマスルカラシテ、此日程追加ヲ私ハ絶對ニ惡ルイトハ申シマセヌ、殊ニ第一讀會ニ於イテ……委員付託ノ分ナドハ續々日程追加ヲ可ト致シマスルガ、此委員長ノ報告ナド……殊ニ修正ナドノアリマス分ニ付キマシテハ、此日程ニ載ツテ居リマセヌガ爲ニ、第一議案ヲ所持シテ居リマセヌ、私ドモハ至ツテ記憶ガ惡ルウゴザイマスデ、議案ヲ悉ク諸記シテ居ルコトハ出來マセヌデ、議案ナシデ議シマスルト、誠ニドウモ審議ヲ缺クノ虞ガアルカト云フ懸念ヲ私ハ持チマスル、成ルベクハ此委員長報告ナドノアツテ確定モシヤウト云フコトハ、成ルベク次ノ日程ヘ載セラレテ、此日程意外ノ議案ノ無イ分ハ成ルベク御避ケニナルヤウニ、全院諸君へ私ハ希望スルノデゴザイマス、私ノ希望ダケヲ一言述べテ置キマス

○議長(公爵德川家達君) 木村君ニ申上ゲマスガ、唯今アナタノ御説ハ、或ハ御尤カモ知レマセヌガ、議事日程追加ノ動議ガ出マシテ、其時議長ハ諸君ニ御諸リヲ致シマシタノデゴザイマスガ、其際御述ベニナツタラ或ハ效力ガ

アツタカ知レマセヌガ、唯今デハ何ノ效力モアリマセヌ、併シ議長ハ木村君  
ノ御注意ハ伺テ置キマス  
○木村誓太郎君 議長ヘ對シテデハゴザイマセヌ、議員諸君ヘ其事ヲ希望イ  
タシマス

○議長（公爵徳川家達君）議事日程第十、明治三十八年度歳入歳出總決算並明治三十八年度各特別會計歳入歳出決算ニ關スル決議案二件、會議、委員長報告、鍋島子爵

明治三十八年度歳入歳出總決算並明治三十八年度各特別會計歳入歳出決算及既往年度検査未確定金額ノ検査確定セシモノヲ審査シ（一）官有物司法省所管小倉區裁判所附屬官舍其ノ他ヲ福岡市某ニ交付シ同人ノ新築ニ係ル福岡地方裁判所所長官舍ヲ得有シタル件（二）歳出經常部文部省所管第七款諸學校及圖書館支出金第二項京都帝國大學傭外國教師ノ費用ニ係ル件ニ付テハ別紙決議案ノ通議決シ其ノ他政府ノ辯明中穩當ヲ闕クモノアリト雖別ニ決議案ヲ提出スルニ及ハスト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年三月十一日

決算委員長 子爵 鍋島直彬

貴族院議長公爵德川家達殿

決議案

貴族院ハ官有物司法省所管小倉區裁判所附屬官舍二棟及古材若干ヲ福岡市渡邊某ニ交付シ同人ノ新築ニ係ル福岡地方裁判所所長官舍一棟ヲ得有シタル件ハ實際交換ヲ爲シタリト認ムヘキモノニシテ官有財產管理規則第十一條ニ違背シタル不當ノ處置ナリト議決ス

## 決議案

貴族院ハ明治三十八年度歲入歲出總決算歲出經常部文部省所管第七款諸學校及圖書館支出金第二項京都帝國大學傭外國教師ノ費用ヲ要求スルニ當リ實際外國教師ノ傭入ナカリシニ滿期解傭ト稱シタルハ不當ノ處置ナリト議

「子爵鍋島直彬君演壇ニ登ル」

貴族院議事速記錄第十七號

明治四十一年三月二十三日

明治三十八年度決算二關スル決議案 會議

○子爵鍋島直彬君 唯今議題ニナツテ居リマスル決議案二件ノ説明ヲ致シ  
スルト同時ニ決算委員會ノ經過竝ニ此報告書中ニ「其ノ他政府ノ辯明中穩當  
ヲ闕クモノアリト雖別ニ決議案ヲ提出スルニ及バス」ト議決イタシマシタル  
其内容ノ極ク概略ヲ御報告ヲ致シマスル、決算委員會ハ一月ノ二十三日ニ第  
一回ノ開會ヲ致シマシテ、此時ハ正副委員長ノ互選ノミデゴザイマシタ、同  
月同日ニ各分科ノ擔當ヲ定メマシテゴザイマス、一月三十一日ニ各分科主査  
ノ互選ヲ致シマシタ、二月ノ五日ニ第二回ノ開會ヲ致シマシテ各分科審査報  
告期限ヲ三月五日マデト定メマシタ、各分科ノ主査ノ報告書ノ提出ハ三月三  
日マデニ完了ヲ致シマシタ、三月ノ九日ニ第三回ノ開會ヲ致シマシタ、其當  
日ハ午前ヨリ午後ニ亘リマシテ審議討論ヲ盡シマシテ議決ヲ致シマシタ、其  
次第ハ先づ各分科主査ヨリ審査議決ノ報告ガゴザイマシテ、續イテ其報告ニ  
基イテ質問審議討論ヲ爲シマシタ、其間ニ政府委員ノ辯明モ數回ニ亘ツテゴ  
ザイマンシタ、遂ニ決議案ヲ提出スベシト議決イタシマシタルモノガ、即チ諸  
君ノ御手許ニ報告ニナツテ居リマスル、今日ノ議題デアル此二件デゴザイマ  
ス、「其ノ他政府ノ辯明中穩當ヲ闕クモノアリト雖別ニ決議案ヲ提出スルニ及  
ハス」ト云フコトヲ報告イタシテ居リマスルガ、此内容ハ決議案ノ説明ヲ終  
リマシタル所デ極ク概略ヲ簡單ニ御報告イタシマス積リデアリマス、是ヨリ  
決議案ノ説明ヲ致シマス、細カク説明ヲ致シマスルト、餘ホド長イ時間ニナ  
ルダラウト存ジマスカラ、既ニ決算委員會ノ速記録ハ諸君ノ御手許ニ配付ニ  
ナツテ居リマスノデゴザイマスカラ、速記録ヲ御覽ニナリマシタ御方ハ細カ  
ク御承知ダラウト存ジマス、大趣意ヲ述ベテ説明ヲ致シマス積リデゴザイマ  
ス、司法省所管小倉區裁判所附屬ノ官舍等ヲ福岡市ノ某ニ交付シテ同人ノ新  
築ニ係ル福岡地方裁判所長官舍ヲ得有シタル件デゴザイマス、是ハ實際建物  
ノ交換ヲ爲シタルモノデゴザイマシテ、官有財產ノ管理規則第十一條ニ違背  
シタル不當ノ處置デアル、斯ウ云フコトニ議決イタシマシタノデアリマス、  
御承知ノ通リ官有財產ノ管理規則第十一條ノ第三項ニ「營造物、家屋、船舶  
其ノ附屬物ハ他人ノ所有物ト交換スルコトヲ得ス」トゴザイマス、然ルニ政  
府ハ小倉區裁判所附屬官舍ハ古建物デアル、取崩シテ賣却スベキモノニアッ  
タノヲ、福岡市ノ渡邊某ガ此舊廳舍ヲ以テ福岡地方裁判所長官舍ヲ建築シテ  
獻納シタイト云フ願ヒヲ許可シテ同人ニ交付シタルモノデアリ、政府ハ決シ  
テ初ヨリ交換ノ目的ヲ以テ爲シタモノデハナイ、ソレ故ニ官有財產管理規則

ニハ違背スル所ハ無イト云フ辯明デゴザイマシタ、此件ニ對シマスル會計検査院ノ検査報告中ニ斯様ナコトガゴザイマス、御承知ノ通リ検査院報告中ニ此件ニ當ル報告ガゴザイマス、三十五年以來福岡地方裁判所長ハ之ヲ利用シ官舍ノ新築ヲ計畫シ本件交換ヲ遂行セル事實ハ當該官吏ノ往復文書ニ徵シ明ナリ」トゴザイマス、ソレデ其往復文書ノ寫ヲ一覽イタシマシタル所、其文書中ニ、明治三十五年十一月三十日小倉區裁判所監督判事ニ對スル福岡地方裁判所長通達トアル其拔萃デゴザイマス、「司法省營繕課長ニ照會シタルニ敷地ハ交換シ建物ハ獻納ノ名義ヲ以テ交換スルハ強ヒテ差支ナキ旨内旨ヲ受ケタリ」トゴザイマス、今一ツハ明治三十五年十二月十五日小倉區裁判所監督判事ニ對スル福岡地方裁判所長通達、是モ拔萃デゴザイマス「建物ト建物トノ交換行ハレサルヲ以テ一ハ拂下ケ又ハ獻納ノ名義ヲ以テ取繕ハサルヲ得ス」云々ト、内實ハ交換ト云フコトガ書イテゴザイマス、政府委員ハソレハサウ云フコトガアツカモ知ラヌガ、ソレハ場所ガ違ツテ居ル、且ツ之ヲ遂行シタ譯デハナイト云フコトヲ辯明サレマシテゴザイマス、果シテ政府委員ノ辯明ノ如クナルニモ致セ、福岡地方裁判所長ハ抑々其名義ヲ取繕ツテ建物ト建物トノ交換ヲ敢テスルト云フノ考案ヲ懷イテ居タト云フコトハ明白デゴザイマス、併シ委員會ニ於テハ強ヒテソレ等ノ書類ニ依ツテ違法ノ處置ト判斷イタシタノデハアリマセヌ、其實蹟ニ依ツテ明ニ交換ト認メタノデゴザイマス、實蹟トハドウカト云フト、即チ事實ノ形蹟デアル、全體不用ノ建物ノ如キハ之ヲ拂下ゲ、建築スペキハ豫算ヲ請求シテ政府自ラ之ヲ建築スルガ當然ノコトデゴザイマス、政府ハ然ラズシテ渡邊某ニ建物ノ儘之ヲ無代價デ下渡シテ渡邊某ハ別ニ新築獻納ヲシ、其渡邊某ニ下渡シタル所ノ舊建物ハ其儘ニ現存イタシテ居リマシテ、其一棟ハ小倉市長ガ居住シテ、一棟ハ室町尋常高等小學校附屬幼稚園ノ使用ニ供セラレテ居ルノデゴザイマス、サウ致シマスルト無代價デ下渡シマシタル舊建物ト獻納シタル建物ト二ツナガラ現存シテ居ルト云フコトニナリマス、茲ニ至ツテハ如何ニ政府ノ辯明アルモ委員會ニ於テハ其辯明ヲ是認スルコトハ出來ヌノデゴザイマス、政府委員ハ努メテ反覆縷々辯明イタサレマシテゴザイマスケレドモ、交換ト認メマシタル所ノ多數ノ委員ハ政府委員ノ辯明ニ依ツテ交換ト認メタル意見ヲ動カスコトハシマセヌデリマセヌ、即チ違法ト致シマスルト決議案ヲ具ヘナケレバナリマセヌ、ソレ

ハ諸君御承知ノ通リ決算議定細則第九條ニ「決算委員會ニ於テ其ノ決算中違法又ハ不當ノ收支アリト認ムルトキハ、其ノ決議案又ハ上奏案ヲ具ヘテ議長ニ報告スヘシ」トゴザイマス、ソレ故ニ交換ト多數ノ委員ガ認メマシタル故ニ此決議案ヲ提出スルニ至リマシタノデゴザイマス、今一ツノ決議案ハ歲出經常部文部省第七款諸學校及圖書館支出金第二項京都帝國大學備外國教師ノ費用要求ニ當リ備入レナカリシニ滿期解備ト稱シマシタルモノデゴザイマス、是ハ政府委員ハ此時期ニ備入レタ場合ニ備期限ガ満了ニナツタカラ備入ト云フコトニセヌケレバ豫算ノ編製ニ甚だ困ルノデアルト云フヤウナコトヲ述ベラレマシタガ、備外國教師ノ諸給ヲ要求イタシマスルニハ備入ルベキ教師ノ諸給ト云フモノヲバ要求サヘ致シマスレバソレデ宜シイコトデゴザイマス、然ルニ滿期解備ト云フコトニシナケレバ要求ノ出來ナイト云フコトハナイ筈デアル、何モ豫算編製ニ苦シムコトハ無イ譯デアル、然ルニ豫算ヲ組ムトキニ外國人ハ居ナイモノヲ強ヒテ備ウタトセネバナラヌト云フヤウナコトハ、如何ニ辯明ガゴザイマシテモ是ハ甚ダ了解サレヌ次第デゴザイマス、結局備入ノ無イモノヲ備入レタト云フコトハ、勿論惡意ニ出タノデハゴザイマスマイガ、之ヲ卑俗ノ言葉デ申シマシタナラバ嘘ツイタト言ハレテモ致シ方ノ無イコトデハゴザイマスマイカ、長時間此外國人ヲ備入レルト云フコトデ遂ニ其備入ガ出來ナカツタト云フコトハ實際其通リニ違ヒナイノデゴザイマス、ソレハ少シモ疑モ何モゴザイマセヌガ、滿期解備ト云フコトハ如何ニ考ヘマシテモ外國人ノ備入レノ無イモノニ付イテ言フコトノ出來ナイ言葉デゴザイマス、ソレ故ニ不當ノ處置ト決議イタシマシテ決議案ヲ提出スルニ至リマシタノデゴザイマス、ソレカラ先刻申上ゲタ委員會ダケデ議決ヲ致シマシタルモノヲ極ク簡單ニ其概要ノミヲ御報告イタシマス、ソレハ八ツバカリ議決ガゴザイマス、其一ツハ歲入經常部第三款官業及官有財產收入第二項森林收入中秋田、宮城、鹿兒島、大阪ノ大林區署ノ徵收ニ係ル件デゴザイマス、右ハ明治三十二年ノ勅令第三百六十三號ニ斯ウ云フコトガゴザイマスノデ一號ハ「公用又ハ公益事業ノ爲必要アルトキ」、二號ハ「非常ノ災害アリタルゴザイマス、既ニ交換ト認メマシタル以上ハ即チ是ハ違法ト申サヌケレバナリマス、之ヲ誤解誤用ヲ致シテ國有林立木ノ特別拂下ヲ爲シマシタルモノデ

ゴザイマス、ソレニ對シマシテハ政府ノ處分穩當ヲ闕ケルモノナルヲ以テ將來ニ注意ヲ促ス必要アリト議決イタシマシタ、尙ホ大阪大林區署ノ徵收ノ件、是ハ大阪ノ砲兵工廠宇治火薬製造所ノ建築用材ヲ請負人ニ拂下ニナリマストキノコトデ「國有林立木拂下ヲ爲スニ當リ立木ニ關シ步減リヲ計算シタルハ事情已ムヲ得サルモノト議決ス」是ダケデハ餘ホド御分リニナリマスマイト思ヒマス、會計検査院ヨリ此歩減リノ計算ハ餘リ過當デアルト云フ報告ガアリマシタルニ對シテ政府委員ハ餘ホド惡ルイ木デアッタ、ソレ故ニ斯ノ如ク歩減リガ多クナツタノデアルト云フコトヲ委シク辯明サレマシタノデ、事情已ムヲ得ザルモノト議決イタシマシタノデゴザイマス、ソレカラ今一ツハ歲入臨時部第一款官有物拂下代第二項地所拂下代、北海道小樽支廳ノ徵收ニ係ル件、是ハ北海道ノ布達ノ第三號ガ存シテ居ルト云フコトニ付イテハ段々議論モゴザイマシテ、分科會ニ於テモ餘ホド精密ナル調査ガゴザイマシタ、其布達ノ第三號ト云フモノハ存シテ居ルコトヲ確カメマシタ、ソレデ會計検査院は非難ノ如キ法規ニ抵觸シタルモノデハナイト云フコトニナリマシタ、併シ是ハ豫算ノ爲トハ申セ其拂下ノタメ偏輕偏重ノ形蹟ヲ現ハシマシテ職務上甚だ事務ニ違反イタシタル不都合ナモノデゴザイマス、段々議論モゴザイマシタガ決議案ハ提出セヌト云フコトニナリマシテゴザイマス、會計検査院ノ報告ノ如ク政府ノ處分穩當ヲ闕クト雖モ別ニ決議案ヲ提出スルノ必要ナシト議決ス、斯ウ云フコトニナリマシタ、ソレカラ官有物、内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル愛知縣愛知郡熱田町、名古屋區裁判所熱田出張所敷地ト名古屋市横井某所有同縣同郡千種町地所ト交換ヲ爲シタル件、是ハ官有地ト民有地トノ交換デゴザイマシテ、官有地ト民有地トノ交換ハ、官有地取扱規則ニハ坪數價格共ニ稍々相均シキモノデナケレバナラヌト云フコトガアル、官有財產管理規則ニハ少クトモ法定價格ト相均シキモノニ限ル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスルデ、是ニハ段々議論モゴザイマシタケレドモ、結局政府ノ處置穩當ヲ缺クモノニシテ將來ニ注意ヲ促ス必要アリト云フコトニ議決イタシマシタ、ソレカラ尙ホ此官有物デ内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル神田郵便局及東京郵便局長官舍敷地ヲ甲武鐵道株式會社ニ拂下ゲ同會社ヲシテ別ニ神田郵便局及郵便局長官舍ヲ建築シテ之ヲ寄附セシメタル件、今一ツハ内務省ニ於テ政府ノ所有ニ係ル警視廳第四消防署附屬萬世橋消防出張所敷地ヲ甲武鐵道株式會社ニ拂下ゲ別ニ同會社ヲシテ消防出張所ヲ建築シ之ヲ寄附セシメタル

件、是等ノ新營ニ關シマスルモノハ豫算ヲ要求シテ其移轉改築ヲ政府自ラ爲スト云フコトガ當然ノコトデゴザイマスノニ、鐵道會社ヲシテ殆ド十一萬圓ノ建築費ヲ負擔セシメテ其移轉改築ヲ爲サシメタルト云フコトハ穩當ノ處置ト認メルコトガ出來ヌノデゴザイマス、併ナガラ政府ノ辯明ニ據リマスト鐵道延長ハ當時公益上、誠ニ急ヲ要スル、其停車場ノ如キモ現在ノ場所ニ限ルノデアル、斯ウ云フ答ヘデゴザイマシテ、當時ノ事情已ムヲ得ヌモノト云フコトヲ認メシテゴザイマス、ソレデ政府ノ處置穩當ヲ缺クモ辯明ニ依リ當時ノ事情已ムヲ得ザルモノト議決イタシマシタ、ソレカラ歲出臨時部陸軍省所管第四款營繕及初度調辦費第二項臺灣兵營廳舍營繕及初度調辦費臺灣陸軍經理部支出ニ係ル件、是ハ兵舍ノ建築ヲ認メテゴザイマスルモノデ、官舍建設ノ費用ハ豫算内ニ含有シテハ無カツタノデゴザイマス、ソレデ段々之ニ付イテハ論モ有ルコトデゴザイマスガ、是ハ軍隊ノ各地ノ配備ガ變更イタシマシテ、ソレガ爲ニ兵舍建設ノ變更ニ依ッテ此豫算ニ餘裕ヲ生ジマシタノデ、ソレニ依ツテ澎湖島ノ如キ場所ニ急ニ此司令官ノ宿舍ノ必要ヲ生ジマシタル爲ニ、豫算ノ編製後ニ軍隊ノ編制ガ變リマシタ爲ニ此必要ヲ生ジマシテ將校ノ宿舍ヲ建設シタ申ス譯デゴザイマス、併シ初メ豫算ニ無イモノヲ此繼續費第一期デ建設イタシマシタルハ正當ノ支出ト認メ兼ネルノデゴザイマス、併シ事實已ムヲ得ヌモノト察セラレマシテ、ソレデ正當ノ支出トハ認メザルモ軍隊編制上、已ムヲ得ザルモノナルヲ以テ不當ノ決議案ヲ提出スルニ及バズト認メト議決イタシマシタ、ソレカラ各特別會計陸軍省所管東京砲兵工廠歲出第一款東京砲兵工廠作業費第六項作場費一、二、トゴザイマス、是ハ東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル件、兵器製造所ト銃包製造所ヲ他ニ移シタノヲ新ニ又移轉イタシマシタ、戰役中製造所ガ狹隘ニゴザイマシタ爲ニ二箇所：一ツハ熱田ニ兵器製造所ヲ移シマシテ、一ツハ王子ニ銃包製造所ヲ新營又ハ移轉イタシマシタノデゴザイマス、是ハ臨時軍事費ヨリ支出スベキモノデアル、ソレヲ臨時軍事費ノミデ此經費ヲ仕拂ハナカツタノガ宜シクナイト云フ會計検査院ノ非難デゴザイマスガ、作業會計法ノ三條ニ「移轉修繕及補充」ト云フコトガゴザイマス、政府委員ハ之ヲ補充ト云フコトヲ以テ辯明サレタノデゴザイマス、併シドウモ補充ト云フコトニ致シマシテハ場所ノ違ツタ所ニ新設政府委員ノ辯明ハ正當デアルトハ認メラレマセヌガ、併シ戰役中デゴザイマ

スル故ニ、其當時ノ状況ヲ酌量イタシマシテ決議案ヲ提出スルニ及バズト云  
フコトニナリマシタノデゴザイマス、正當ノ支出ト認メザルモ戰役中已ムヲ  
得ザルモノナルニ依リ不當ノ決議案ヲ提出スルニ及バズト認ムト議決イタシ  
マシタ、歲出臨時部ノ遞信省所管ノ第八款臨時事件費第一項臨時事件費遞信  
省經理局ノ支出ニ係ル件、廣島郵便局ノ支出ニ係ル件、是ハ郵便局ノ敷地建物  
ノ買收新營及修繕ノ費用トシテ政府ハ戰役ニ依リ激増セル臨時事務處理ノ必  
要上、施設イタシマシタル臨時事件費デアルト辯明サレマシテゴザイマスケ  
レドモ、戰役中ニハ其施設ハ無クシテ經過イタシマシテ、新ニ明治三十八年  
十月以降ニ至ツテ事業ニ著手イタシマシタルモノデゴザイマシテ、之ヲ臨時  
必要ノ計畫トナシマスルコトハ穩當ヲ缺ク所ガゴザイマス、因ツテ將來ニ注  
意ヲ促ス必要アリト議決イタシマシタ、其他ニ各地方廳若クハ裁判所等ニ於  
テ屬官雇書記ノ如キ者ガ虛構詐欺ノ行爲ガゴザイマス、其虛構詐欺ノ行爲ニ  
對シマシテ仕拂ヲ爲シタルモノガゴザイマスルガ、是ハ政府ニ於テモ會計檢  
查院ノ不當ノ仕拂ト云フコトニ向ツテハ検査報告通リト政府モ認メラレテゴ  
ザリマス、而シテ是等ノ虛構詐欺ノ行爲ヲ致シマシタル當事者ハソレゾレ政  
府ニ於テ處分ニナツテ居リマスルノデゴザイマス、既ニ處分ニモナツテ居リ  
マスルコトデゴザイマスル故ニ委員會ニ於テハ將來ノ注意ヲ促ス必要アリト  
云フコトニ議決イタシマシタノデアリマス、先づ委員會ダケデ議決イタシマ  
シタル箇條ハ唯今申上ゲマスル八ツデゴザイマス、此他明治三十八年歲入歲  
出總決算及明治三十八年各特別會計歲入歲出決算、唯今議決ノ次第ヲ申上ゲ  
マシタル外ニハ全體ニ向ツテ異議ナシト云フコトニ議決ヲ致シマシタ、此段  
御報告申シマス

○議長(公爵德川家達君) 一應休憩ヲ致シマス

午後零時十分休憩

午後一時六分開會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午前ニ引續キマシテ開會ヲ致シマス、午前  
ニ御委託ニ相成リマシタ特別委員ノ氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀ヲ致サセマ  
ス

〔太田書記官長朗讀〕

明治四十年法律第三十一號中改正法律案特別委員

伯爵松木宗隆君 子爵鍋島直柔君 小牧昌業君  
田邊輝實君 男爵西五辻文仲君 男爵中川興長君  
南郷茂光君 宮本谷藏君 澤原俊雄君

肥料取締法改正法律案特別委員

子爵伏原宣足君 子爵一柳末徳君 男爵野村素介君

男爵岡内重俊君 田中芳男君 男爵關義臣君

男爵安場末喜君 絲原武太郎君 伊藤長次郎君

明治三十九年度豫備金支出ノ件外六件承諾ヲ求ムル件特別委員

侯爵大炊御門幾麿君 男爵小畑美稻君 子爵山本實庸君

子爵藤井行徳君 男爵沖守固君 男爵辻健介君

男爵徳川厚君 谷森眞男君 原保太郎君

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案外一件特別委員

伯爵清棲家教君 辻新次君 淺田徳則君

男爵菊池大麓君 男爵石黒忠惠君 男爵小早川四郎君

男爵清水資治君 伊澤修二君 内藤宇兵衛君

刑事訴訟法中改正法律案特別委員

侯爵徳川頼倫君 三好退藏君 村田保君

奥山政敬君 富井政章君 一木喜徳郎君

石渡敏一君 高木豊三君 穂積八東君

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御發言モ無イト認メマスカラ、採決ヲ致シマ

ス、決算委員長ノ報告ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○子爵鍋島直彬君 是ヨリ退席ヲ致シマシテ關稅定率法輸入稅表中改正法律  
案外一件ノ委員會ヲ開キタウゴザイマスカラ許可ヲ請求イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 鍋島子爵ノ委員會へ退席ノ要求ハ要求通リデ御異  
存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス  
○伯爵寺島誠一郎君 三月十九日ニ議長ノ御指名ニナリマシタ衆議院議員選

學法中改正法律案特別委員會ヲ既ニ本日午後一時ニ開クコトヲ通牒ヲシテゴザイマス、若シ御差支ガゴザイマセヌケレバ退席ヲ致シマス

○議長(公爵徳川家達君) 寺島伯爵ノ委員會へ退席ノ要求ハ御異議ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十三、市制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會、第十五、町村制中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

市制中改正法律案

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十一、衆議院議員選舉法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

右本院提出案及送付候也

明治四十一年三月十七日

衆議院議長 杉田 定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 杉田 定一

市制中左ノ通改正ス

第九條第二項中「公權剝奪若クハ停止ヲ附加ス可キ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルトキハ」ヲ「禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ」ニ改ム

町村制中改正法律案

第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ被選舉人一名及選舉人ノ氏名ヲ記載シテ投票スヘシ

第三十六條ノ二 選舉人ニシテ文字ヲ書スルコト能ハサル由ヲ申立ツルトキハ投票管理者ハ吏員ヲシテ代書セシメ之ヲ本人ニ讀聞カセ捺印投票セシメ其ノ由ヲ投票錄ニ記載スヘシ

第四十六條 削除

第五十四條 開票管理者ハ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達シタル翌日市ニ於テハ投票ノ翌日開票立會人立會ノ上到著順ニ依リ投票函ヲ開キ投票ノ數

ト投票人ノ數トヲ計算スヘシ

第五十五條第二項ヲ左ノ如ク改ム

開票管理者ハ開函毎ニ投票ヲ立會人ト共ニ點檢スヘシ

第五十八條第五號中「被選舉人」ノ下ニ「及選舉人」ヲ加フ

第八十九條 削除

第九十條中「又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒ」ヲ削ル

○議長(公爵徳川家達君) 此特別委員ハ去ヌル十九日選定ニ相成リマシタ衆

ムカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 是モ去ヌル十九日議長ガ選定ヲ致シマシタ市制中改正法律案茲ニ町村制中改正法律案ト同一委員ニ付託シテ御異存ゴザイマセ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

明治四十一年三月十九日

發議者 大谷嘉兵衛

賛成者 伯爵正親町實正

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十七、質屋取締法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

質屋取締法中改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治四十一年三月十七日

衆議院議長 杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

質屋取締法中左ノ通改正ス

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十九、產業組合法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

産業組合法中改正法律案  
右本院提出案及送付候也

明治四十一年三月十九日

衆議院議長 杉田定一

貴族院議長公爵徳川家達殿

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第十九、産業組合法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會

第二項ヲ削ル

○議長(公爵徳川家達君) 議事日程第二十一、海外商工事務官ヲ置クノ建議案、大谷嘉兵衛君提出、會議、建議案ノ朗讀ヲ致サセマス

〔東久世書記官朗讀〕

海外商工事務官ヲ置クノ建議案  
右貴族院規則第六十四條ニ依リ提出候也

○大谷嘉兵衛君 本建議案ハ諸君ノ御賛成ヲ得マシテ本日ノ議題ニ上ボリ唯今諸君ヲ御煩ハシ申シマスルコトニナリマシタノデアリマス、付キマシテ本案ハ極メテ明白且ツ戰後經營ノ上ニ最モ必要缺クベカラザル問題デゴザイマスル、依ッテ本案ニ對シマスル所ノ次第ハ理由書ヲ以テ御一讀クダサレマシタルモノト信ジマス、故ニ此所ニ於キマシテハ其大體ヲ簡單ニ申述ベテ諸君ノ御賛成ヲ仰ギタイト存ジマスノデアリマス、帝國今日ノ一大急務タルハ即チ

海外商工事務官ヲ置クノ建議  
查報告セシメ産業貿易ノ發展ニ資セラレムコトヲ望ム依テ茲ニ建議ス

理由

帝國今日ノ最大急務ハ財政ヲ整理シテ信ヲ興國ニ博シ財源ヲ涵養シテ國力ノ充實ヲ圖ルニアルヤ勿論ナリ然ルニ國力培養ノ根本タル産業貿易ノ發達ヲ獎勵スヘキ方法ニ至リテハ未タ盡セリト云フヘカラス其ノ施設經營ヲ要スヘキモノニシテ足ラスト雖海外ニ於ケル農商工業ニ關スル細大ノ事項ヲ常ニ研究調査シテ敏活ニ之ヲ當業者ニ報告指導スヘキハ當然ノ急務ナルヲ信ス殊ニ歐米ニ於ケル商工業ノ如キ日進月歩シテ息マサルノ實況ヲ詳カニセサルニ至リテハ商工立國ノ要アル時勢ノ進運ニ副ハサルモノト謂ハサルヲ得ス從來農商務省ニ於テハ海外練習生ナルモノニ補給シ幾分カ調査報告セルモノナキニアラスト雖未タ實業者ノ希望ヲ満タスニ足ラス依テ特ニ學識經驗ニ豊富ナル者ヲ撰拔シテ海外商工事務官ニ任シ英米獨佛露清ヲ始メ南米濠洲等ノ樞要ナル地ニ派遣常置シ經濟界ノ動靜ハ勿論本邦ニ關スル輸出入品ノ商況産業ノ變遷需要ノ情況嗜好流行金融關稅運貨包裝其ノ他有ラユル要點ニ就テ實地調査ノ結果ヲ報告セシメ海外各國ニ於ケル日新ノ情況ヲ國民ニ通曉セシメ以テ産業貿易ノ發展ニ資セムトスルニ在リ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

〔大谷嘉兵衛君演壇ニ登ル〕

外七十名

國家ノ財源ヲ養フニアルト深ク信ジマスノアデリマス、果シテ然ラバ、國力ヲ涵養スルニハ如何イタシタナラバ可ナリヤト申シマスレバ、我ガ產業ノ發達ヲ促シ貿易ノ販路擴張ヲ致スヨリ他ニ途ナキモノト存ジマスノデアリマス、

而シテ其手段方法ニ付キマシテハ種々施設經營ヲ要シマス事柄ハ多々ゴザリマスケレドモ、要スルニ日進月歩ノ止マザル所ノ世界ノ大勢ニ後レヲ取ラザ

ルヤウ進マナケレバナラヌカト確認イタシマスノデアリマス、本案ヲ提出イ

タシマシタル所ノ大體ノ精神的理由ハ斯ノ如クデゴザイマスル、シテ產業貿易ノ發達ヲ圖リマスニハ海外各國ノ產業貿易ニ關スル所ノ事情ヲ詳ニ致シマ

シテ之ヲ國民一般ニ示シ彼ノ長ヲ採リ我ガ短ヲ補ハナケレバナラヌカト信ジマスルノデアリマス、從來斯ノ如キ指導的獎勵方法ノ其宜シキヲ得ザリシハ

誠ニ國力培養ノ爲ニ甚ダ遺憾トスル所ゴザイマス、今ヤ戰後益一國費ノ多

端ナル折柄デアリマスルカラ、政府ニ於テモ大ニ海外貿易ノ發展策ヲ取ラレ、以テ海外ニ專任ノ商工事務官ヲ置イテ貰ヒマシテ、各國ノ農商工業ニ關

スル實況ヲ常ニ調査シ、速ニ之ヲ報告セシメ、以テ我一般ノ各業者ノ取ルベキ方針ヲ指導セラレムコトヲ切ニ望ム所ゴザイマス、加ヘテ申シマスルト、斯ル指導的獎勵政策ハ歐米各國ニハ行ハレテ居リマスノデアリマスガ、

我國ニ於キマシテハ未ダ對外貿易ノ事ニ尙ホ幼稚ナルコトハ諸君ノ御承知ノ如クデアリマスル故ニ、戰後多端ナ今日デアリマスルニ依ツテ、政府ハ當然

此施設、獎勵政策ヲ取ラレムコトヲ偏ニ希望イタシマスノデアリマス、又對外ノ事情ヲ察シマスルト、必要欲クベカラザルモノト深ク信ジマスノデアリマス、故ニドウカ諸君ニ於カレマシテモ本案ニ御贊成アツテ速ニ御決定アラ

ムコトヲ偏ニ冀ヒマス次第デアリマス、右ノ次第ゴザイマスデ、宜シク御了承ヲ願ヒマシテ、尙ホ御質問モゴザイマスルナラバ自席ニ於キマシテ不辯ナガラ御答ヘラ申上グル積リデゴザイマス

○伯爵柳原義光君 此案ハ極メテ結構ノ案ト思ヒマスカラ、委員ニ付託ニナラムコトヲ希望イタシマス

○男爵伊達宗敦君 柳原伯ニ贊成

○子爵會我祐準君 贊成

○伯爵德川達孝君 贊成

〔其他〕贊成」ト呼フ者多シ

○議長(公爵德川家達君) 柳原伯爵ノ本建議案ヲ委員ニ付託スルト云フ動議

ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス  
起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、此際御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ、書記官長ヲシテ朗讀イタサセマス

〔太田書記官長朗讀〕

質屋取締法中改正法律案特別委員

伯爵大村 純雄君 子爵梅小路 定行君 子爵本莊 宗義君

宮本 小一君 男爵若王子 文健君 男爵二條 正鷹君

產業組合法中改正法律案特別委員 得能 通昌君 松村 時次君 本間 千代吉君

男爵楫取 素彦君 子爵有馬 賴之君 子爵松平 直敬君

徳久 恒範君 男爵平野 長祥君 男爵青山 元君

渡 正元君 櫻木嘉右衛門君 佐藤伊左衛門君

海外商工事務官ヲ置クノ建議案特別委員 伯爵德川 達孝君 伯爵吉井 幸藏君 男爵眞木 長義君

子爵松平 直平君 伯爵松平 正直君 男爵青山 安君

谷森 真男君 大谷 嘉兵衛君 鎌田 榮吉君

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二十二、平民ノ稱記ニ關スル建議案、三浦安君提出、會議、特別委員長報告、德川伯爵

平民ノ稱記ニ關スル建議案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十一年三月十四日

右特別委員長

伯爵 德川 達孝

〔伯爵德川達孝君演壇ニ登ル〕

貴族院議長公爵德川家達殿

○伯爵德川達孝君 平民ノ稱記ニ關スル建議案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道イタシマス、此委員會ハ二回ホド開キマシテ慎重ニ審查ヲ致シマシ

タ、此建議案ノ提出ニナリマシタ所ノ趣意ハ先頃本會議ニ於テ提出者カラシマシテ詳細ニ御説明デゴザイマシタカラシテ、今茲デ喋々申ス必要モゴザイ

マスマイガ、本會議ニ上ボリマシタキカラ大分時日モ經ッテ居リマスルカラ、念ノ爲ニ極ク簡單ニ提出ノ理由ヲ申シマスレバ、此建議案ニ書イテゴザレバナラニ慣例デアリマスガ、此全國ノ國民ノ中、平民タル所ノ人ハ餘ホドノ多數デアリマシテ、其爲ニ願届ヲスルノニ餘ホド手數ガ掛カル、其手數ノ掛カルコトハ如何ナル譯カト申セバ、何々縣、何々郡、何々村何ノ某ト書イテアルケレドモ、華族トカ士族トカ平民トカ云フコトヲ書カナイ爲ニ、此届出ハイカナイト言ッテ却下サレル、其度ニ又書キ直シマスル、餘ホドノ是ハ無用ノ手數ダカラ、其手數ヲ省ク爲ニハ平民ト云フ肩書ヲ書カヌヤウニシタイ、斯ウ云フ趣意デ本案ガ提出ニナツタ譯ダサウデゴザイマス、委員會ニ於キマシテハ種々質問モゴザイマシタ、其實問ノ事柄ハ既ニ諸君ノ御手許ニアル所ノ速記錄デ御熟讀デゴザイマセウカラ是モ喋々ト申シマセヌガ、併シ本案ノ委員會ノ模様ヲ御報告スルニ付イテハ必要ナコトモゴザイマスカラ其質問ノ要點ノ二三ヲ茲デ述べテ置カウト存ジマス、ソレハ其平民ト云フコトハ一體族稱デアルカドウデアルカ、又此平民ト云フ稱ヲ書面ニ書カヌト云フコトニナルニ付イテハ此建議案ガ通レバソレ直グト肩書ヲ書カナクテモ宜イト云フ譯ニナルカ、或ハ是ハ立法上ノ手續ヲ以テ肩書ヲ書クニ及バスト云フコトノ必要ガアルカト云フヤウナコトヲ委員ノ中カラ政府委員ニ質問サレマシタ、其時ニ政府委員ノ答ヘラルニハ、平民ト云フコトハ今日慣例上、族稱ノ中ニ含ンデ居ル、併シ華族トカ士族トカ平民トカ云フコトハ族稱デアルト云フ所ノ積極的ニ法律ニハ出テ居ラナイ、併シ慣例トシテ肩書ニ書ク譯デアルカラ勢ヒ華族士族平民モ族稱ノ中ニ含ンデ居ル、ソレデ戸籍法トカ其他ノモノニ族籍、職業、身分トアル中ニ必ズ此族籍ノ中ニ華士族平民ト云フコトヲ書カナケレバナラニヤウナコトデアル、併シ法律デ出テ居ル譯デハナイガ解釋上族稱ノ中ヘ這入ル譯デアル、又此平民ト云フ文字ヲ肩書ニ書クノ止メルニ付イテハ、ドウシテモ立法上ノ手續ヲ以テ平民ノ肩書ヲ書クニ及バヌ、ソレハ又單行法ナリ或ハ其法律ニ付イテノ改正案ナリ兎ニ角斯ノ如キ手續ヲ取ラケレバ此建議案ガ通過シタカラト言ッテ、ソレデ以テ自然的ニ平民ノ肩書ヲ書クニ及バスト云フ譯ニハナラヌ、ドウシテモ立法上ノ手續ヲゴザイマシタガ、餘リ長クナリマスルシ、此報告ヲ爲スニ付イテ左ノミ關係

モゴザイマセヌカラ先ヅ質問ノ要點ハ此位ニ止マス、質問ガ終リマシタカラ、政府ニ於テハ此建議案ノ趣旨ハ如何デアル、同意デアルカ或ハ不同意デアルカ、斯ウ云フ點ヲ尋ネマシタ所ガ、政府ノ意嚮ハ成ルホド、此建議案ト云フモノハ是マデ無用ナ手數デアル所ヲ省イテ複雜ナコトヲ簡單ニシヤウト云フ意味デアル、併ナガラ前ニ質問ノトキニ答辯シタ如ク、平民ノ肩書ヲ記成ルホド無用カハ知レナイガ、左ホド又無用ナモノデモナイ、手數ト云ヘバ獨リ平民ノ肩書ヲ書クノミナラズ他ニモ無用ナ手數ハ隨分アルダラウト思フ、獨リ是バカリガ無用ノ手數デハナイカラシテ、ドウモ此點ニ於テハ同意ハ出來兼ネル、斯ウ云フヤウナ意味デゴザイマシタ、ソレヨリ討論ニ移リマシテ賛成並ニ反對ノ意見ガ二三出マシタ、其反對ノ側ノ方ノ意見ノ大要ヲ此所デ簡單ニ申シマスレバ平民ト云フコトハ是マデ書キ來ッタコトデアッテ、成ルホド無用ノ手數カモ知レナイ、併ナガラ他ニモナカナカ無用ナコトガアルカモ知レヌト思フ、今マデ仕來ッタコトヲ急ニ無用ダト云フ必要モナシ、又ソレガ爲ニ立法上ノ手續マデモシテ、サウシテ肩書ヲ取ルト云フヤウナコトハ左ホド今日必要デナイ、斯ノ如キ譯デアル故ニ本案ニハ反對スル、斯ウ云フ簡單ナ反對ノ意味デゴザイマシタ、賛成ノ方ノ側ノ意見ノ大要ヲ申シマスレバ、全體此華族、士族ト云フコトハ今日法律上ニ於テ何等ノ區別ハ無イ、併ナガラ此社會上ニハ一種ノ歴史ヲ備ヘテ居ルカラシテ華族士族ト云フコトハ自ラ平民トハ違フカモ知レナイガ、平民ト云フコトハダ、肩書ガ有ラウトモ無カラウトモ即チ國民ノ一人ト云フ譯デアッテ、肩書ガアルガ爲ニドウ云フ取扱ニナルトカ云フヤウナ譯デモナイ、實ハ平民ト云フ肩書ヲ取ル位ナラバダ、士族モ亦取ッテモ敢テ差支ナカラウト思フ、併ナガラ士族ト云フコトニ付イテハ歴史上ノ或ル一種ノコトガアル故ニ先ヅ士族ノ方ハ別トシテ平民ノ肩書ヲ取ルコトハ至極必要デアル、今政府委員ガ言ハレルニハ立法上ノ手續マデモ踏ンデ肩書ヲ取ラケレバナラヌト云フガ、其立法上ノ手續ヲ踏ム方ノ面倒ト一々書面其他ニ肩書ヲ書ク方ノ手數ト比較シテ見レバダ、立法上ノ手續ヲスルコトナドハ易々タルモノデアル、願書其他ニ一々肩書ヲ書クト云フコトハ何千萬ノ人民ノスルコトデアルカラ、餘ホド其爲ニ無用ノ時間ヲ費ヤスコトデモアルカラシテ、此建議案ト云フモノハ最モ今日必要ナモノデ

アル、斯ノ如キ意味ヲ以テ本建議案ニ賛成ヲサレタ御方ガ數多ゴザイマス、先ヅ其賛否兩論者ノ意見ノ大要ハ今申述ベタ如キ次第デゴザイマシテ、探決ヲ致シマシタ所ガ、二名ニ對スル四名ノ多數ヲ以テ本建議案ハ可決スベキモノト議決ニナツタ次第アリマス、此段ヲ御報告イタシテ置キマス、尙又委員會ノコトニ付イテ御尋ネガザイマスレバ出來得ル限りハ本員ニ於テ御答ヘ致シテモ宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 委員會ノコトニ付イテ質問ガアレバ御答ヘナサルト  
一、如何ニモ御察シ通リ質問シタイ、此平民ノ稱號廢止ノコトニ付イテ反對賛成ノ意見ト云フモノヲ御述ベニナリマシタガ、贊否共ニ誠ニ淡白ナ譯デアッテ、チヨット伺ッテハドウ云フ譯デ反對デアツタカ贊成デアツタカ、チヨット聽キ兼ネル位デアリマス、委員長ニ特ニ御尋ネシテ置クガ、ドウカ明瞭ニ御答ヲ願ヒマス、此案ノ中ニ「幾千萬字ニ達スヘク十年百年ヲ積算スレバ實ニ恐ルヘキ無用ノ大手數大徒費」トアル百年經チマスルト是ガドウ云フヤウニ恐ルベキ無用ノ大手數大徒費ガ出テ來ルモノデゴザイマセウカ、無論是ハ委員會ニ於テ慎重ニ慎重ニ、丁寧ニ丁寧ニ、御調查ニナツタモノト思ヒマスカラ、是ガ百年經ツタラドウ云フヤウナ恐ルベキ點ガ出テ來ル譯デゴザイマセウカ、無論御調ベナツタ譯デゴザイマセウカラ、委シクドウカ  
○伯爵德川達孝君 伊達男爵ノ御質問ニ御答ヘ致シマスガ、十年百年ト云フコトニ付イテハ委員會デハ別段調査ハシマセヌガ、併シ私ガ一個人カモ知レマセヌガ、解釋スル所ハ一體日本ノ人口ト云フモノハ年々歳々増シテ來ル、歐羅巴ノ或ル國ノ如ク年々人口ガ減ルニアラズシテ年々増シテ來ル傾向ガゴザイマスカラシマシテ、又分家其外ガ續々出來マセウカラ今日デモ四千何百万ト云フコトデアレバ十年百年ト云フコトニナレバ何億ト云フコトニナルト思ヒマス、ソレユエ手數ガ掛カルト思ヒマス、  
○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ通告順ニ從ヒマシテ登壇ヲ促シマス、關男爵

〔男爵關義臣君演壇ニ登ル〕

○男爵關義臣君 諸君、此建議案ニハ私ハ満腔ノ反対ノ意見ヲ有ツテ居リマス、暫ク諸君ノ御清聽ヲ希ヒマス

〔成ルタケドウゾ大聲ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ〕

私ハ全體ガ此案ニ付キマシテハ、此平民ニ關スルコトニ付キマシテハ、此建

國ノ初メヨリ日本ノ歴史上、組織上、關係ノ大ナルコトモアリマスシ、又皇室ト平民トノ關係ハ諸君ノ御承知ノ通り他ノ國ニ無イ日本デハ關係ヲ有ツテ居リマス、十分ニ私ハ其邊ヲ申上ゲタイト實ハ存ジマシタ、然ルトコロ段々、今朝カラサウ云フコト言フ程ノコトデハ無イノデアル、歴史上ノ方ノコトマデモ引イテ來テ時間ヲ長ク費ヤスト云フコトハイカヌデアラウト云フ朋友カラノ御忠告モアリマシタカラ、私ハソレニ從ヒ、ソレデハ私ハ寧ソヤメル方ガ宜カラウト思ヒマシタガ、又友達ノ方デハ何カヤラヌケレバイカナイ、價ガ無イト云ツテ誰モ演壇ニ登ラヌト面白ウナイ、是非登レ、斯ウ云フ御方モアッタ、併ナガラ其御方ハ委シク言ヘト云フ御說モアリマシタケレドモ、到底歴史等ノ此民族ノコトヲ申シマスレバ、一時間クラ井モ掛カルコト、明治八年太政官ガ族ヲ記載スルコトヲ布告シタノハ決シテ杜撰デハナイ、官職、職官抄及令義解等、歴史上ニ非常ノ關係ガアル、ソレカラ來タコトデアル、併シソレ等ノコトハ一切私ハ省キマシテ、唯此議案ノ發議者ノ思召ト議案文ニ甚ダ不完全ナコトガアリマス、ソレニ付イテ其邊ヲ一應チヨット申スダケニシテ置カウト思ヒマス、一體發議者三浦君ハ私ノ朋友中ノ年長者デアル、又一體信ズベキ先輩デアル、私モ此御發議者ニ對シテ反対ヲ表スルノハ何カ甚ダ不快ノ感ガアリマスケレドモ已ムヲ得ヌ、此問題ハ隨分國家ノ公ケニ關スルコトデアリマスカラ、仁ニ當ツテハ師ニ讓ラズ、已ムコトヲ得ズ反対ヲ唱ヘザルヲ得ナイ譯デアリマス、今申上ゲタ此建議ト云フモノハ甚ダ價ソ無イ建議デ、ドウデモ宜シイヤウデアリマス、併ナガラ能ク考ヘテ見マスレバ餘ホド喧マシイコトニモナル、一體此我國ノ組織ハ歴史上ニ關スルコトモアリマスケレドモ、是ハ今申上ゲタ通リ更ニヤメテ仕舞ヒマシテ、先ヅ此建議案ノ不完全ナル點ヲ一二言申上ゲタイト思フ、此「平民」ト記載スル二字ハ繁文デアルカラ抹消スルト云フ、至ツテ單純ナコトデアルガ、此「平民」ノ二字ノ稱記ニ關スル規則、或ハ法律案、勅令等ニナリマスルト、澤山ナコトデアル所ガチヨツトマア大要ヲ見マシテモ戸籍法ノ中ノ百四十條カラ、ソレカラ第百四十六條、第百六十八條、第百十九條、第百二十三條、第百二十五條、第百四十條、第百四十二條、第百六十五條、第百六十七條、第百七十六條、第百八十八條、第百九十九條、是等ノ條ハ讀ミマセヌガ、戸籍法ノ中ニ於テモ此位アルノデアル、此戸籍法デ見マスルト書キ様カラ困ル、平民タチヲ人、何百何人、此村デハ人何百何人ト書クカ、華族ガアルカ士族ノアル村ナラバ

華族何人、士族何人、人何人ト書ケバ宜イガ、人バカリデアルト、ドウモ書キ様ガナイ、困ッタモノデアル、ソレカラ此平民ノ字ヲ冠スルコトハ唯今申上ゲタ通リデアルケレドモ、條ヲ讀ムト大變長ウナリマスガ、刑事訴訟法、民事訴訟法、陸軍治罪法、海軍治罪法、行政裁判所法、衆議院議員選舉法、色ミアル、ソレカラ公證人規則、是モ條ハ申上ゲマセヌ、判事検事登庸試験規則、辯護士名簿登録規則、質屋取締法細則、辯護士試験規則、醫師施行法案、歯科醫師施行法案、斯ウ云フコトガアル、ソレカラ或ハ古物取締法、ソレカラ願書届書ナドニナリマスレバ實ニ五十個以上ホドアリマス、斯ウ云フマア煩ハシイコトヲ此簡單ナ建議案デ行クト云フノハ甚ダ御間違デアラウト思ハレル、況ヤ一體此折角ノ建議デアレバ「平民」ノ記載ノ二字ガ取レルコトニ於テ、法律ニモ規則ニモアルコトヲ取ラヌ以上ハ全ク此案ハ誠ニ無用ノ案ニナッテ仕舞ツテ、唯徒然ニ歸スルノデアル、ソコデ此建議案ヲ以テ法律規則ヲ改正スルダケノ力ガアルカ、ソレハ決シテナイ、是ハ言フマデモナイコトデアル、固ヨリ建議案ドコロデハナイ、勅令デスラ法律ヲ動カスコトハ出來ナイノデアル、然ルニ第一、委員會ニ於テ發議者御當人ニ質問ヲ致シタ所ガ、其質問ニ御答ニハ總テ戸籍法トカ何トカ云フコトハ、アレハ別ニ申サズトモ其本ガ廢タレバ自然ニ是モ廢タレルノデアル、斯ウ云フ御答デゴザイマスガ、是ハ甚ダ敬服スルコトハ出來ナイ、間違ヒダト思ヒマス、何ノコトデアリマスルカ、發議者本人ニ於テハ一體此建議ヲ以テ法律モ規則モ改正ガ出來ルモノト云フ思召ノヤウニ見エル、サウスレバ此建議案ト云フモノハ何ト云フ不束ナ建議案デゴザイマセウ、此建議案ノ中ニハ何モ法律ヲ改正シ、規則ヲ改正スルト云フコトハ少シモ書カレテナイ、若シサウデナイナラバ此建議案ヲ政府ガ採用シテ、ソレヨリ此謹規則諸法律ヲ政府自ラ案ヲ立テテ吳族院ハ申スマデモナイ法律マデモ制定スルダケノ權能力ガアル、ソレニモ拘レーレト云フコトヲ要求スルコトモ建議案ニ這入ツテ居ラヌ、又例外ヲ作ルノモソソンナコトモ這入ツテ居ラヌ、實ニ此建議案ハ甚ダ不完全デアッテ、貴族院ハ申スマデモナイ法律マデモ制定スルダケノ權能力ガアル、ソレニモ拘ノデアル、此本サヘ亡ビレバ宜イト云フコトデアリマスケレドモ、斯ウ云フモ斷ジテ採ラザル所デアリマス、發議者ノ御趣意ヲ推測スレバ誠ニ易々ナ御趣意デ、此建議案サヘ成立テバ法律モ改正スルノデアル、規則改正モ出來ルラズニ斯ウ云フ突飛ナ建議案ト云フモノハ、本員ハ貴族院ノ面目ノ上ニ於テモ断ジテ採ラザル所デアリマスケレドモ、斯ウ云フ

決シテ政府ヲ動カスノ力ハ無イノデアル、若シヤ此ニ於テ建議ガ成立ツテ政  
府ガ受理スルモ決シテ重キヲ置カレズシテ函ノ中ニ仕舞ヒ込ンデ仕舞ウタナ  
ラバ本院ノ面目、貴族院ノ建議ト云フモノハ、コンナ不完全ナモノト、函ノ  
下ヘ入レラレテハ本員等ノ實ニ面目ニ關スルコトニアリマス、ドウゾ此案ハ  
ハ無用ノ繁文ト云フコトハ澤山アル、先刻モ委員長ノ御説ニモアツタト思ヒ  
マスガ、私ハ少シ耳ガ遠イデ能ウ聽エナンダケレドモ、色ニ第一讀會ノ質問  
ノ節ニ申上ゲタ如ク、東京府東京市ト書クトカ、麻布區麻布ト書クトカ、無  
用ノ贅文デアル、願書届書其他ニ職業ノ無イ者ガ無職業ト書ク、職業アル者  
ガ其職業ヲ書ク上ハ殊更ニ職業ノ無イ者ガ無職業ト書クナドト云フコトモ無  
用ノ手數、斯ウ云フヤウナモノヲ調べ上ゲテ見レバ澤山無用ナコトガアラウ  
ト思フ、ドウゾ私ノ思ヒマス所ニ於キマシテハ、斯ウ云フ平民ノ記載ヲ廢メ  
ルト云フ喧マシイコトニナルト、絶エズ喧マシイ論ガ出ルコトモアリマスカ  
ラ、是ハ御撤回ニナツテ其代リニ前ニ申上ゲタ如ク此他ノ無用ノコトヲ集メ  
テサウシテ之ヲ御改正ニナラムコトヲ出サレタトキニハ、私ドモデモ諸君デ  
モ悅んデ歡迎シテ成立ツコトニナラムト、絶エズ喧マシイ論ガ出ルコトモアリマスカ  
ニナツテ、此案ハ御斷念ニナツテ他ノ無用ノモノニ御換ヘニナラムコトヲ偏  
ニ私ハ希望スルノデアリマス、ドウモ此建議案ニシテ見マスルト、華族ハ華  
族ト書ケ、士族ハ士族ト書ケ、其以外ノ者ハ平民デアルト云フヤウナコトハ、  
誠ニ是ハ奇ナコトニナラウト思ハレル、決シテ此東京府ノ明治九年十二月達  
ノ甲四十四號ノ必ズ門標ニ族籍ヲ書ケ、位ノアル者ハ位ヲ書ケ、戸主ハ戸主ト  
書ケ、板ハ何寸デドウセイト云フヤウナコトハ今ハ忘レテ仕舞ウテ居ル、其  
後明治十一年十一月東京府ノ布達甲六十三號ヲ以テ族籍位階ダケハ本人ノ勝  
手デ餘ハ是マテノ通リトアリマス、門標モ立派ナ板デ松ニ樅ニ何トカ三種ニ  
ナツテ居リマス、ソソナ規則ハ誰モ知ッテ居ル者モ無イ、書キモシナイ、今  
ハ門ナドニ小サイ紙ニ姓ダケ書イテ置クノモアリ名刺ナドヲ出シテ居ツテモ  
ナツテ居リマス、東京府ノ布達ニモアツテ門標ガ無ケレバ巡查ヲシテ督促セシメ  
ルト云フコトニナツテ居ツタガ、巡查ダツテモ知ラヌコトニナツテ居ル、之  
ヲ今更イカナイト云フコトハ全ク無イト云フ私ハ積リデアル、若モ建議案ノ

手紙ノ上ニ書ク者ハ無イノデアル、ソレヲ殊更ニ是カラ書カナケレバナラヌ、若シソンナ事ヲシテ肩書ノ無イ手札ナドヲ持テ田舍ニモ行ッテ社ヘ參詣スル、寺ヘデモ參詣スルト云フ場合ニ、貴様ハ玄關カラ上レヌ横口ヘ廻レ、大門ヲ來ルコトハナラヌ横道ヲ來イ、斯ウ云フコトニナラヌトモ限ラヌ、又手紙ヲ出シテモ士族ニ對シテ肩書ナシデ出セバ士族ガ受取ラヌ、是ハ肩書ガ無イ、失敬千萬ナ、平民ニ比シタ手紙ダト言フカモ知レナイ、即チ是ハ百萬以上ノ士族ト云フモノニ關係ヲ持ッテ居ル、士族ト云フコトヲソレヲ出ス者モヤル者モ書クト云フコトニナッテハ實ニ其煩ニ堪ヘヌ、想フニ發議者ノ仰シャル繁文ト仰シャルケレドモ、今日ハ何モ繁文ナコトハナイノデアル、畢竟横ヘ書クコトハ忘レテ仕舞ツテ居ル位ニナッテ居ル、所ガ斯ウ云フコトヲ殊更ニ起シテゴザッテハ、大イニ其繁文ヲ増スヤウニナルカト私ハ思ハレルノデアル、此發議者ノ御發議ニナッタ濫觴ハ、何カ三浦君ガ外國人カラスウ云フコトヲ聞キマシタ、日本デハ平民ガ一々平民ト書カヌケレバナラヌ面倒ガアル、外國デハサウ云フ面倒ガ無イ、ソレヨリ御考ヘニナッタコト漏レ承ハリマシタ、現在私モ聞キマシテゴザイマスガ、日本ト西洋ト組織ノ違フコト、日本ノ建國ノ初メカラ君族トナリ臣族ト岐レテ、ソレソレ姓氏ヲ賜ハラレ、此日本ノ數千年コノカタ一國ガ即チ家族制度ニナッテ上下共同シテヤッテ居ル、此組織ノ國デアッテ、決シテ歐羅巴ナドト比較ニナラヌ、國ノ組織ガ達フ、歐羅巴ニ士族ガアルコトモ聞カズ、固ヨリ平民ダ、其中デ爵ノアル人ハ爵ハ書キマスケレドモ、歐羅巴デハ書イテモ他方ヘ出レバ外交官トカ軍人トカ云フ者ナラ肩書ヲシマスデセウケレドモ、普通ハ決シテ肩書ヲスル人モ無イデス、日本ノ組織ト外國ノ組織トハ大變違フカラ、ドウモ日本ノ此建國ノ初メヨリ族籍ヲ尊シテ上下ノ秩序ヲ明カニシテ國ヲ經綸シテ來タ組織トハ外國ハ大變違フカラ、外國ノ例ヲ引クコトハ出來ヌ、サウスレバ外國人カラ若シサウ云フコトヲ御聞キニナッタナテバ、其事ヲ以テ御話シニナッタラ宜カッタデアラウト私ハ思ハレルデス、併シサウハ言フモノノ日本ノ實際ヲ見レバ先刻申上ゲタ通リ誰モ今ハ肩書ヲスル者ハ無イ、法律規則ノ場合ニハアルガ、其場合ハ民事ニ訴ヘルトカ、惡ルイ事ヲシテ、裁判所ヘ引張ラレルナドトカ云フコトデヤカラ、先ヅ五千萬中ニドノクラヰ繁文ナ事ガアルカト言フト、サウ云フ場合デ書クノハ凡ソ一萬カ二萬デアラウト思フ、其位ナモノハ決シテ繁文ト云フノデハナイ、繁文ト云フコトニ付イテハ私ハ

希望ニモ違フコトニナリハセヌカ、私ハ此建議案ノコトハ勢ヒ言ウテ見レバ、風ナキニ浪ヲ起ス如キモノデハアルマイカ、今日、華族ハ華族、大華族ナドハ立派ニ爵ヲ書カレルケレドモ、小華族ニナッテハ書カレス、我輩等ハ新平民ダカラ無論書カヌガ、男爵トカ何トカ面倒ナコトガ起ツテ來ル、風ナキニ浪ヲ起スト云フヤウナコトガアルカラシテ、是ハ到底成立チモシマイト存ジマスルシ、御本人ニ於テハドウヅ他ノ無用ノ事ヲ一ツ御調ベニナッテ御建議ニナレバ贊成モ致シマスガ、是ハ是非御撤回ニナルヤウニ願ヒタイ、若シ御撤回ニナラヌ以上ハ諸君ハ此案ノ成立タヌコトニ御贊成ヲ願ヒマス、甚ダ私ノ意見ハ歴史上カラ色ミ解釋シ原因カラ持ツテ來テ御話ヲシタウゴザイマスケレドモ、私ハ今日ハソンナ必要ハナイト思ヒマス、ソレ故ニ甚ダ僅ニ一口ダケ申上ダタ譯デゴザイマスガ、モウ大抵御了解クダサツタデアラウト思ヒマスカラ、……

○議長(公爵德川家達君) 三浦安君

(三浦安君演壇ニ登ル)

○三浦安君 本員ノ建議案ニ付キマシテ唯今、關君ヨリ御反對ノ說ガアリマシテ、其中ニハ平生ノ友誼上ナドカラ御說キ入レニナリマシタガ、議場ニ於テハ親疎ノ差別モ何ニモアリマセヌ、正義ヲ以テ議論ヲスルノガ當然ナノデアリマスカラ、假令平日懇意デアラウガアルマイガ、ソソナコトデ同意スルトカ、セヌトカ云フコトハ決シテ意ヲ捕ムベキモノデハアリマセヌ、其邊カラ御論ヲ御起シニナッタノデ考ヘテ見レバ、ドウ云フ御論デアルカト思ヒマシタラ、又其中ニ歴史上、日本ハ外國ト組織ガ達フ、日本ニ於テハ組織上平民ト云フノハ當然デアルト云フ如クニ聽エルヤウデアリマスガ、ソレモマダ十分ハ聽取リ兼ネマシタ、抑、此平民ト云フコトハ日本國初ヨリ今日ニ至ルマデ、此平民ト云フコトヲ書クマデハナカッタノデアリマス、唯爵ノ有ル者トカ無イ者トカ武士ダトカ何トカ云フコトハアリマシタケレドモ、唯何モ無イ者ヲバ今日ノ言葉ノ上デ平民ナドト云フコトハアリマスケレドモ、致シマセヌ、唯入用ノトキハ職業モ書キマシタラウ、色ミ書キヤシツラウケレドモ、平民トカ何トカ云フコトヲ肩書スルト云フコトハ少シモゴザイマセヌ、又無イ筈デ有ルベキモノデナイ、入ラヌコトナシデス、所ガ此御維新後

ニナリマシテ、入ラザルコトヲ省イテ、上下協和ノ思召カラシテ、華族ト云  
フコトニ一ツ諸大名ヲ約メテ仕舞ヒ、ソレカラ中下大夫ヂヤノ何ヂヤノアッ  
タノヲ士族ト云フコトニ約メテ仕舞ツタ、詰リ平民ト云フコトヲ言出シタノ  
ハ穢多非人ニ對シタ言葉デ、華族、士族アリ穢多非人アリ、其中間ニ平民ア  
リデ、穢多非人ヲ許シテモウ平民ト同様ニセシメントカ、色ニ謂フ所ノ平民  
ト云フコトヲ言出シタ、ソレガ他ニ對スルコトガアツカカラ平民ト云フコト  
ヲ言出シタノガ元デアル、然ルニ明治八年ニナツテ一ツニ約マッテ仕舞ウタ  
ンデ、三ツニ約マッテ仕舞ウタシテ、肩書ニ華族、士族、平民ト書ケトス  
ウナリマシタ、デ華族士族ハ固ヨリ立派ニ布告ヲ以テ華族ト稱セイ、士族ト  
稱セイト云フコトハアル、平民ト云フ者ハ一般ニ平民ト稱スベシト云フ布告  
モ無ケレバ命令モ無イ、唯穢多非人ナドニ對シテ平民平民ト言ヒ來ッタノガ  
慣習トナツテ、八年ノ布告ノ時ニ華族、士族、平民トスウ出テ居リマスンデ、  
アノ時ニ平民ト云フコトヲ言ハズニ置イタラ、モウソレデ濟シダモノナンダ、  
平民ト書カヌト云ウテ今日ノ事務上ニモ何ニモ差支ハ公事ニ於テ一ツモナ  
イ、御維新後ノ言ヒ來リヲ以テ、平民ト云フコトヲヒヨット華族士族ノ次ヘ  
書イタノデアリマス、ソレデ華族ハ是ハ族稱ニ違ヒナイ、平民ト云フコトハ  
然何カノ法律中ニモ族稱ト云ヒヤウガ無イ、デ此平民ト云フコトヲ省ク  
ト言ウテモ他ノ法律ニ族稱ト云フコトガアルノニ、皆差支ヘルト云フ御說ガ  
アリマシタヤウダケレドモ、明治八年ノ肩書ト云フコトカラ涉シテ來テ、自  
然何カノ法律中ニモ族稱ト云フコトノアルノニ平民ガ籠ツテ居ルヤウニ誤ツ  
テ解釋シタ位ニ思ヒマス、其證據ハ即チ先刻關君モ段々御引用ニナリマシタ  
戸籍法ニハキリ有リマスンデ、戸籍法ハイツ決マッタト申シマスト、明治  
三十一年ニ今日ノ戸籍法ガ決マッタノデ、其第四十四條ノ第三ニ「届出入ノ  
族稱、職業、出生ノ年月日」云々トアリマス、ソレデ第百六十五條ニ、新ニ  
華族ニ列セラレ又ハ華族士族ノ稱ヲ失ヒタル者ハ十日内ニ左ノ諸件ヲ具シテ届  
出ルヤウニ、トスウアリマス、ソレカラ百六十六條ニ「分家、廢絶家再興又  
ハ處刑ニ因リテ族稱ヲ失ヒタル者ニハ之ヲ適用セス」トアリマス、族稱ト云  
フコトハ即チ華族士族ノコトデアツテ平民ハ這入ツテ居リマセヌノガ當リ前  
デ、ココラノ文デ見マスルト、是へ平民ガ屹度這入ルト見ルノハ恐ラクハ餘  
リ念ノ入り過ギタ解釋デ、一口ニ言ヘバ誤解カト思フ位デアル、日本員ガ  
平民ノ稱ヲ除クコトヲ建議スルト申スノハ、誠ニ入ラザルコトデ即チ御維新

前マデ其稱ノ無カツタモノヲ御維新後ノ五六年ノ慣習、言ヒ來リニ依ツテ平  
民ト云フ號ヲ來タシテ、華族士族平民ト並ベ言フモノダカラ、即チ族稱ノ中  
ニモ平民ガ這入ツテ居ルト思ヒマスケレドモ、決シテ族稱ニ平民ハ這入テ居  
リマセヌ、族稱ト云フハ即チ今戸籍法デ説イタ通り、華族、士族、之ヲ族稱  
ト云フノデアリマス、平民ト云フコトハ族稱ノ中ニ這入ルベキモノデナイ、  
ソレハナゼカト云フト、一方ハ平民族ト稱セイトカ平民ト言ヘトカ云フ命令  
ニ溯ツテ明治八年ノ肩書ヲスルト云フノノ、平民ト肩書ヲスルト云フコトヲ  
廢メニサヘシマシタラバ、自然外ミヘモ響イテ消エルコトハ消エマス、又愈  
之法律ニチャント、族稱デナシニ平民ト云フコトデモ這入ツテ居ルノガアレ  
バ、之ヲ法律ヲ出シテ廢メサセテモ宜シウゴザイマス、ソレハ本ヲ抜イタ上ノ  
話デ、一番根元ハ明治八年ノ肩書カラ起シタノデアリマスカラ、其平民ト肩  
書スルコトヲ廢シサヘシマシタラバ、自然ニ廢タレル、法律ニ這入ツテ居  
テ廢タレヌコトガアレバ、別段ニ法律ヲ出シテ之ヲ消エト云フコトハ、政  
府ガ此平民ノ稱ヲ止メルコトニ同意ニナツタ以上、僅カノ手數ノコトデ、ドウ  
デモナリマス、又貴族院ヘ出スベキコトガアレバ、法律トシテ出スガ宜シイ、  
恐ラクハ族稱ト云フ外ニ平民ト云フコトヲ餘リ餘計言ウタ……ヲ見マセヌカ  
ラ、族稱ト云フノガ華族士族ニ限ツテ、平民ニ及シテ居ラヌト見レバ、強ヒ  
テ其心配ハ餘計入ルマイト思フノデアリマス、關君ノ鄭重ナ御說デハ、日本  
建國ノ體裁ニ關係スルトマデノ御說デアリマシタケレドモ、是ハ恐ラク誤解  
ノ極點デゴザイマス、ナゼト云フニ今申シタ通リ國初以來、御維新ノ今日ニ至  
ルマデ、肩書ヲ云々ト言ウタ外ニ平民ト云フコトヲ言ウタノハナイ、全ク是ハ  
華族士族下穢多非人トナツテ居ルカラ、其間ニ立ツタ者ヲ平民ト言ツタノデアリ  
マス、之ヲ以テ國體上ニ關係スルトカ何トカ言ウテ國ノ組織ニモ關スルヤウ  
ニ思ハシヤルノハ御氣ノ毒ナガラ誤解ト言ハザルヲ得ヌ、其ヤウナ鄭重ナ  
考ヲ以テ此案ハ議スル譯ノモノデハゴザイマセヌ、此建議案ハ至ツテ手輕イ  
モノデゴザイマシテ、明治八年ノ肩書ヲスルト云フコトヲ取消シテ、以來肩書  
ニハ及バスト云フコトニサヘナツタラバ、ソレニ依ツテ手數ヲ省クノミナラ  
ズ、事ノ當然ヲ得テ居ル、外國云々ト云フコトヲ言ハレマシタガ、私ハ決シ  
テ議場ニ於テ外國人ニ依ツテ發明シタナドト云フコトハ申シタコトハゴザイ

マセヌ、ゴザイマセヌガ、是ハ比較シテ言ヘバ斯ウ云フヤウナ要リモセヌ名ヲ付ケテ、言ハバ手數ヲスルコトハ外國ニハ決シテアリマセヌ、ソレ等ニ對シテモ餘リ面白クナイ、決シテ國ノ組織上ナドヲ言ヘバ日本ガ外國ト異ナルコトハ三ツ兒モ知ッテ居リマス、知ッテ居リマスケレドモ之ヲ以テ、平民ノコトヲ以テ外國ト比較シテ云々ト云フコトハ決シテ言フニ及バヌノデアリマス、言ハバ是ハ省イテ仕舞フノガ宜シイ、斯ウ云フコトデゴザイマス、此レ以上論ジマスレバ際限モナイヤウデアリマスガ、全ク戸籍上ナドデ言フ所ノ族稱ニハ平民ハ這入ッテ居リマセヌ、華族士族ト云フモノデアリマス、依テ華族ヲ失ッタモノ、又士族ヲ失ッタモノ……士族モナンデモ刑律ニ依ッテ士族ヲ失フト云フコトガアルト思ヒマズ、族稱ト云フモノハ全ク華士族ニ限ッテ決シテ平民ニハ及シテ居リマセヌ、依ッテ今日明治八年ノ布達ヲ廢メテ、モウ以來平民ノ肩書ヲスルニハ及バヌ、斯ウサヘナリマスレバ其本ガ廢タリマスルト、自然及ブ所ニハ及ビマスガ、及バヌ所ハアトカラ、手ヲ届カシテヤレバ出來マス、ソコ等ヲ以テ今日之ヲサウ重ク見ラレルノハ却ッテ面白クナイト存ジマスカラ、ソレダケノコトヲ辯ジテ置キマス、ドウゾ手輕イコトデゴザイマスガ、其本ヲ拔イタラバ關係スル所ハ極大キイモノデアリマスカラ御贊成アラムコトヲ希望イタシマス

〔子爵曾我祐準君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君）曾我子爵

〔男爵關義臣君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長（公爵德川家達君）曾我子爵ニ發言ヲ許シマシタ

○子爵曾我祐準君　チヨット三浦君ニ御尋ネシマスガ、此建議案ヲ拜見シマスト「平民タルコト明白ナルニコトサラニ」云々トゴザイマスガ、ドウモ此文意ト云フモノハ平民ト云フ肩書ヲ廢メルト云フノデアリマスカ、又此平民ト云フハ一段階ニナッテ居リマスガ、ソレヲ廢メルノデアリマスカ、今ノ御演説デアルト肩書ト云フモノハ獨リデニ無クナルト仰シヤルガ、ドウモサウ云フ理窟ニハ行カナ、ドウモサウナラウ道理ガナイ、肩書ヲシナイト云フコトニナッテモ平民ハドコ・マ・デモ平民ダ、唯肩書サヘ取レバ平民ト云フ稱號ハ無クナルト仰シヤルケレドモ、ソレハ届書、願書ニ肩書ヲシナイカラト言テ平民ガ消滅シヤウ筈ハナイト思ヒマス

○三浦安君　平民ノ稱ガ始マリマシタノハ何カラ一定シタカト云ヘバ、明治

八年ニ肩書ヲセヨト云フコトカラ始マリマシタノデアリマス、平民ト稱スベシト云フ布令ガアッタノデハナイ、士族ハ士族、華族ハ華族ト云フヤウニ皆ソレソレ稱スルコトノ命令ガアリマシタケレドモ、平民バカリハソレガ無イノデアリマス、無イノニ平民ト云フノヲ族稱同様ニシタノハ何カト云フト、明治八年ノ肩書ト云フコトカラ起リマシタ、明治八年ノ布達ガ本ニナッテ外ノモノニモ色ニ涉ッテ居ルカモ知レマセヌガ、族稱トハ違ヒマス、故ニ平民ノ稱ハ肩書ガ止ンデ來レバ自然ニ廢タレルト本員ハ思ヒマス、平民ト云フ肩書ヲシナケレバ何モ平民ト言ヒヤウハ無イ、是デ御分カリニナリマシタラウ

○子爵曾我祐準君　分リマセヌ、趣意ガ違フカラ、マア宜シイ……  
○三浦安君　今日、平民ト云フコトハ一般ノ通稱ニナッテ居ルヤウニ思ヒマスカラ平民ト云フモノハ廢タレヌト云フ思召カハ知レマセヌガ、平民ト云フ肩書ヲ取ッテ仕舞ヘバモウ平民ト言ヒヤウハナイノデアリマス、其稱ハ布達ニモ何モアリマセヌカラ、ソレハ廢タレルノガ當然デアリマス  
○子爵曾我祐準君　矢張リ分ラヌ  
○三浦君　古來カラ平民ト云フ稱ガアッタラ致シ方ガナイケレドモ、全ク御維新後三五年ノ間ニ平民ト云フコトガ始マッタノデアリマスカラ、其肩書ヲセヨト云フコトサヘ止ンダナラ、モウ平民ノ稱ガ消ユルノハ當リ前デアリマス  
○子爵曾我祐準君　是ハモウ議論ニナリマスカラ、御尋ネシテモ本源力達ヒマスガ、アナタノヤウニ仰シヤルト、華士族ノ稱號デモ變リハアリマセヌ、  
公卿ト云フモノガアッテモ、是モ公卿ト稱ヘロト言ッタ譯デハナイ、又住民ト云フコトヲ言フガアレモ住ッタ人間ト云フノデハナイ、人間ノ一ツノ組織ニナッテ居ルノダ、ソレガ自然ニ變ジテ來マシタノデ、サウ云フノハ幾ラモアリマス、命令ニ依ラズサウ云フ名ヲ付ケマス、醫者ノ如キ、醫者ダト云フ肩書ヲ付ケヌデモ、矢張リアレハ醫者ダト言フデハアリマセヌカラ  
○三浦安君　華族、士族ノコトヲ平民ト一緒ニ言ハレルノハ間違ッテ居リマス、ナゼ間違ッテ居ルカト云フト、華族ハ華族ト稱セヨ、士族ハ士族ト稱セヨト云フ命令カラ出テ來居リマス、平民ノ肩書ヲ存スルモノハ平民ト稱スベシト云フ命令ハ無イノデアリマス、依ッテ平民ト云フ稱ハ族稱ノ中ヘ這入ラヌト見ルノガ當然デゴザイマス、ドウモ華族士族トハ違ヒマス、又華族士族ニ

ナリマスト人數モ少イシ色ミシマスカラ、少々ノ手數ガアツテモ知レタモノデアリマス、一般平民ガ仕事ヲシテ其仕事ノ上ニ於テハ村役場其他ニ書付ヲ出シマス、若シ平民ノ肩書ガ落チテ居ルト幾遍デモ呼出サレテソレヲ直シテケルト云フコトニナルノデゴザイマス、ソコラヲ能ク御承知クダサツタナラニ願ヒマス

○男爵關義臣君 三浦君ニ質問シタイノデゴザイマスガ、宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○男爵關義臣君 平民ノ字ハ無イト云フ思召ノヤウナ御話デゴザイマシタ、一體、職官志ノ民部省ニ於テ民ノ戸籍ヲ司ドリ年々改メテ六年目ニ改造シテ三本ヲ寫シ一本ヲ太政官ニ一本ヲ中務省ニ出シ、陛下ノ御手許ヘ備ヘルナドトアリ、其邊ニハ民籍トカ平民トカ云フ字ガアルト思フ、アレハドウゴザイマス、又令義解ニモ矢張リ民籍トカ平民ト云フ字ガ見テアルト思フ、先ヅソレハ措キマセウ、サウ云フコトハアナタニ講釋セヌデモ宜シイ、ドウモアナタノ御演説ガ分ラヌカラ同フノデヤ、又申上ゲマスガ古キ時ハ平民デナクトモ必ズ百姓ト書イテアリマス、維新前舊幕時分ニハ御百姓ト書イテ居ル、ソレヲ維新後、農ト直シ、農ヨリ平民ト改メタノデアル、是ハ百姓ト書イタラ宜イデアリマスカ、平民ト云フコトハ無イト云フ御話デゴザイマスガ、決シテソンナコトハナイ、茲ニ大勢年老ッタ方ガ居ラレル、ドウデゴザイマスカ、ナゼ平民ト書カレヌノデアルカ、御百姓ト書クノガ宜イノデアルカト云フコトヲ伺ヒマス、舊イ事ハ言フノハ止メマスガ、維新前ニハ百姓ト言ツタノデゴザイマス、御百姓ト書イタラ宜イト云フ思召デゴザイマスカ、ドッヂデアラウカ、平民ト書イテ宜イト云フ思召デゴザイマスカ、ソコラ同シテ置キタイ、且又私ハ第六部ニ御互ニ居ルガ、此案ヲ「聽取シ難シ」御話デアリマシタガ、私ハ耳ガ遠イカラ間違ウタカ知レマセヌガ、無イト仰ツシヤルカラ……是ダケ御質問イタシマス

○三浦安君 御答イタシマス、御互ニ分ラヌ分ラヌデ、ドッヂモ分ラヌ、ハ、ハ、抑、令義解ニアルトカ、令ニアルトカ言ハレテモ文章ノ上ニナリマス、文章ノ上、決シテ平民ト云フ稱呼ヲ肩書スルト云フコトハアリマセヌ、斷然

……ソレハ平民ト言ハウガ、平人ト言ハウガ、昔書イテアリマセウガ、アリマシタ所ガ、文章上ノ都合デ、書イタノデ、之ヲ名稱トシテ肩書ヲスルト云フコトハ古來アリマセヌ、其事ハアナタガ御分リニナラナイノデ、是ガ分ラヌノーツ、其外色ミ御話ガアルヤウデゴザイマスケレドモ、今私ガ外國ト云フノハ此議場デ言ウタ言葉デゴザイマセヌ、外國ニ比較シテモ外國ニハ決シテ此平民ミタヤウナ一般ノ者ニ名ヲ付ケタモノハナイト云フコトハ言ヒマシタ、是ハ又當然デゴザイマス、ソレハ日本ガ平民ト云フノハ古來カラ國ノ組織上ニ於テ必要ト云フコトヲ關サンガ仰ツシヤルナラバ誠ニ御氣ノ毒ナガラ大キナ間違ヒト云ハナケレバナラヌ……

〔男爵關義臣君、御互ニ分ラヌデ仕舞フ……ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君) 關男爵ニハ發言ヲ許シテゴザイマセヌ

○三浦安君 御互ニ分ラヌデ濟シテ仕舞フ、モウ此上彼レ此レ言フト互ニ罵詈スルヤウニナリマスカラ是ヨリ以上ハ御答ハ致シマセヌ

○伯爵德川達孝君 チヨット伺ヒマス、三浦サンデゴザイマセヌ議長ニ伺フノデス

〔三浦安君、ハイト呼フ〕

議長ニ伺フノデス、別段贊成反対ノ通告ハゴザイマセヌカ

○議長(公爵德川家達君) 通告ハゴザイマセヌ

○伯爵德川達孝君 ゴザイマセヌケレバ此際討論終結ノ動議ヲ提出イタシマス

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 德川伯爵ノ動議ニ贊成者モゴザイマシタガ、發言者ガ無ケレバ自然ニ討論終結デハナイカト思ヒマス、別段起立ニ問フニ及ブマイト思ヒマス

○議長(公爵德川達孝君) 通告ガ無クテモ誰カ何カ御述ベニナルカ知レマセヌカル方ガ穩當デアラウト思ヒマス、討論終結ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半數ト認メマス、本建議案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長（公爵徳川家達君） 少數ト認メマス、故ニ本建議案ハ否決セラレマシタ

○議長（公爵徳川家達君） 議事日程ノ第二十三ヨリ議事日程ノ第二十八マヂヲ問題ニ供シマス

「左ノ意見書案ハ朗讀ヲ 經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ」

意見書案

利根川河身改修工事速成ノ件

茨城縣北相馬郡布川町平民農白井春五郎外千三百九十五名呈出

右ノ請願ハ利根川沿岸地方ハ明治二十九年以來屢洪水ニ苦シミ殊ニ客年八

月ノ洪水ハ前古未會有ノ慘害ヲ呈シ人民離散ノ悲境ニ陥リタルヲ以テ今ヤ

巨額ノ縣費ヲ投シテ水害復舊ノ工事ニ努ムト雖固ヨリ應急ノ手段タルニ止

マリ災害ノ根治ハ到底河身改修工事ニ須タサルヲ得サルニ依リ千葉縣佐原

町以西茨城縣取手町ニ至ル第二期改修工事ノ期間ヲ短縮シ之ヲ明治四十六

年迄ニ完成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

小學校教員官設鐵道無賃乗車ノ件

茨城縣北相馬郡高井村學務委員中久木周平外十一名呈出

右ノ請願ハ教育ノ發展ヲ計ラムカ爲小學校本科正教員並尋常小學校正教員ニシテ教育視察ニ關シ監督官廳ノ證明ヲ得テ旅行スル者ニ對シテハ官設鐵道ノ無賃乗車ヲ許可セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

鐵道列車ニ禁煙室設備ノ件

神奈川縣橫濱市根岸町士族教員林翁外六名呈出

右ノ請願ハ近時觀光外國人ノ增加スルニ隨ヒ鐵道列車内ノ喫煙ニ對スル非難ハ一層喧シキヲ加ヘ殊ニ日本大博會開催ノ期遠キニ在ラサルヲ以テ今ヨリ之ヲ矯正スル爲速ニ全國鐵道列車内ニ禁煙室ヲ設備セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

菊川水路改修ノ件

靜岡縣小笠郡中村長熊切正次郎外七名呈出

右ノ請願ハ靜岡縣小笠郡ヲ貫流スル菊川ハ水路屈曲シテ排水宜シキヲ得ナルカ爲頻年洪水汎濫シテ沿岸住民ノ被害甚シク關係諸村ニ於テハ屢之カ河身改修工事ヲ企畫セリト雖疲弊セル民力ノ到底堪フルトコロニ非サルニ依リ國費ヲ以テ同川ノ改修工事ヲ行ハレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

酒造稅法中改正ノ件

秋田縣河邊郡新屋町平民酒類製造業大島源助外六名呈出

右ノ請願ハ酒造業者ヲ保護シ國家ノ稅源ヲ涵養スル爲酒造稅法第六條中第

四期ノ納稅期ヲ五月三十一日迄ニ繰下ケ及第八條第二項但書ヲ清酒ニ限リ  
命令ノ定ムル處ニ依リ查定石數百分ノニノ津引減量及百分ノ八ノ貯藏減量  
ヲ控除スルコトニ改正セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採  
擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

廣島江津間鐵道速成ノ件

島根縣邑智郡川本村長寺本松若外五十二名呈出

右ノ請願ハ廣島江津兩地間ハ運輸交通頗ル頻繁ニシテ且濱田境ノ兩港ハ既  
ニ特別出港ニ指定セラレタルノミナラス濱田松江ノ兩屯營ト廣島衛戌ト  
ノ關係上陰陽兩道ノ聯絡ハ一日モ緩ウスヘカラサルヲ以テ之ヲ第一期線ニ

繰上ケ速ニ工事ニ著手セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採  
擇スヘキモノト請決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

意見書案

九州鐵道線ニ東郷停車場新設ノ件

福岡縣宗像郡東郷村平民農尾園十三外六十名呈出

右ノ請願ハ九州鐵道線路ニ沿ヘル福岡縣宗像郡東郷村ハ其ノ郡ニ於ケル政  
治教育及產業ノ中樞ナルモ停車場ニ至ルノ距離遠キ爲公私ノ利便ヲ闕クコ  
ト尠カラサルヲ以テ同村ニ停車場ヲ設置セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院  
ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別  
冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

北海道旭川遊廓廢止ノ件

北海道上川郡旭川町士族商越川百一郎外百二十四名呈出

右ノ請願ハ明治四十年三月北海道廳告示第百六十一號ヲ以テ設置ヲ許可セ  
ラレタル北海道上川郡永山村中島遊廓ハ既ニ近隣旭川町ニ署遊廓ノ存在ス

ル今日ニ於テハ毫モ其ノ必要ヲ認メサルノミナラス其ノ附近ニハ各種ノ學  
校及第七師團衛戌等アリテ軍紀風教ニ至大ノ害毒ヲ及ホス虞アルニ依リ同  
遊廓ハ之ヲ廢止セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘ  
キモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

鐘岬燈臺建設ノ件

福岡縣宗像郡岬村長石橋太之助外十六名呈出

右ノ請願ハ筑前烏帽子燈臺ヨリ豊前藍島ニ至ル玄海灘及響灘ノ海上約七十  
浬ノ間ハ風浪殊ニ險惡ナルニ燈臺ノ設置ナキ爲船舶ノ避難ニ迷ヒ遂ニ沈沒  
ノ厄ニ罹ルモノ尠カラサルヲ以テ最適當ノ位置ニ在ル福岡縣宗像郡鐘岬ニ

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

燈臺ヲ建設セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノ  
ト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

郡界變更ノ件

埼玉縣秩父郡吾野村農大河原常二外二十二名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ居村ハ地勢入間郡ニ密接シ古來之ト人情風俗產業其ノ他利害關係ヲ同シウスルコト尠カラサルモ是等諸般ノ關係薄キ秩父郡ノ區域ニ屬スルヲ以テ郡界ヲ變更シテ同村ヲ入間郡ニ編入セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
郵便局移轉ノ件

山口縣熊毛郡周防村長相木今之進外二名呈出  
右ノ請願ハ山口縣熊毛郡島田郵便局ハ集配區域ノ南隅ニ偏在スルノミナラ

ス同局設置ノ當時トハ交通ノ状態一變シ其ノ所在地ノ如キハ殆ムト一僻地ト化シ不便不利尠カラサルニ依リ位置ノ最適當ニシテ且商工業取引ノ頻繁ナル舊山陽鐵道線島田驛附近へ同局ヲ移サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案

石ノ巻船形間船形酒田間鐵道速成ニ關スル件

宮城縣牡鹿郡石ノ巻町平民公吏米倉清五郎外二千六十八名呈出  
右ノ請願ハ既ニ豫定鐵道線路ニ屬スル宮城縣下石ノ巻ヨリ小牛田ヲ經テ山形縣下船形ニ至リ更ニ酒田ニ達スル鐵道ハ宮城山形ノ兩縣及太平洋ト日本

海トヲ聯絡スル樞要ノ線路ニシテ啻ニ東北地方ニ於ケル饒多ナル利源ヲ開發スルノミラス國防上一日モ緩ウスヘカラサルヲ以テ速ニ之ヲ敷設セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

意見書案  
渡良瀬川河身改修ノ件

栃木縣安蘇郡植野村平民農新里初藏外五十九名呈出

右ノ請願ハ渡良瀬川ハ足尾銅山ノ礦業盛ナルニ伴ヒ河底埋塞シテ洪水汎濫ノ慘禍年毎ニ加ハリ沿岸住民ノ流離漸次甚シキニ至レルヲ以テ水害救治ノ爲同川ノ河身改修ヲ利根川河身改修ノ設計中ニ編入シ適當ナル工事ヲ施サレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十一年月日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣侯爵西園寺公望殿

○子爵曾我祐準君 委員長ニチヨット伺ヒマスガ、此北海道ノ旭川遊廓問題デゴザイマガ、此件ニ付キマシテハ委員會ニ於テ何ゾ政府委員デモ御呼ビニナッテ御聞キニナツタヤウナコトハゴザイマセヌガ、チヨット御尋ネ致シマス

○三宅秀君 政府委員ニハ別ニ出席ヲ請ヒマシテ尋ネマス必要ハ無イト云フコトデ、請願書ヲ審査イタシマシテ採擇ニナリマシタノデアリマス  
○議長(公爵徳川家達君) 唯今問題ニ供シマシタ請願ヲ請願委員長報告通り採擇スペシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス、是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、次ノ議事日程ハアトヨリ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス

午後二時二十六分散會